

物件管理-CMS

ver 3

カスタマイズ マニュアル

【発行】 adbon.net
【著者】 adbon.net
【メール】 info@petabo.com

2012/02/15 改定

【著作権について】

このマニュアルは著作権法で保護されている電子書籍です。
このマニュアルの取扱いにあたり、以下の点にご注意ください。

本マニュアルの著作権は、発行元であるadbon.net(アドボン・ネット)にあります。
許可無く、このレポートの一部または全部をあらゆる手段で複製、流用、転用することを禁じます。
ただし、内容を改編しないことを条件に再配布することを許可します。

【免責事項について】

本マニュアルは、「物件管理-CMS」のカスタマイズ方法を記載したものです。

本マニュアルを使用した結果、効果がない場合や、いかなる損害が生じた場合においても、著者及び発行元は一切の責任を負うものではありません。

【目次】

1. 機能タグの利用方法	4p
2. 注目物件をカテゴリ別に表示する方法	11p
3. カテゴリ別に物件一覧を用意する方法	13p
4. エリア別に表示する方法	14p
5. 検索タグ入力欄のチェックボックス化	17p
6. マイページの項目を増やす方法	19p
7. 物件検索ボックスの内容を変える方法	28p
8. 物件へのお問合せに、項目を追加する方法	31p
9. 物件への一括お問合せに、物件情報を追加する方法	35p

1. 機能タグの利用方法

『機能タグ』とは、HTMLコード(ファイルの拡張子は.php)に直接貼り付けるだけで利用できる「簡易的なプログラムコード」のことで、Movable Typeで利用できるMTタグのようなものです。

例えば、HTMLコード中に `<?=$general->http?>` というコードを貼り付けると、ブラウザからは admin ページで設定したドメインが表示されます。

このように、adminページや、CMSページで設定した内容(物件の詳細情報含む)、動的に変化するデータを、簡単に表示することができます。

<物件詳細の機能タグ>

物件詳細ページ(detail.php)に掲載する情報(例:物件名など)の機能タグは、CMS画面の「物件項目設定」ページから参照することができます。機能タグを tplフォルダ内の利用するテンプレート に貼り付けて利用してください。

項目の機能タグ: 項目右側の「機能タグ」リンクをクリックすると、記述方法が表示される。

写真の機能タグ: 画面上部の「写真の機能タグ」をクリックすると、記述方法が表示される。

物件管理 CMS

ようこそ user@ne.jp さん | サイトを確認 | ログアウト | 退会処理

物件管理 アカウント管理

物件一覧 物件登録 **カテゴリー一覧** カテゴリー登録 注目物件設定

カテゴリ毎の物件項目設定

カテゴリ [賃貸] の 物件項目 を設定します。 >> 前のページに戻る

項目移動をクリックへ変更 **写真の機能タグ**

表示	表示順	項目名	項目の入力方法	項目の単位
<input checked="" type="checkbox"/>	ドラッグ 移動	入力例: 管理の 管理ID	<input checked="" type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 必須 <input checked="" type="radio"/> テキスト (60) <input type="radio"/> 選択 (60)	1つ入力:表示 複数入力:選択 (25)
<input type="checkbox"/>	ドラッグ	入力例: 物件名 [検索対象]	<input type="radio"/> 任意 <input checked="" type="radio"/> 必須 <input type="radio"/> テキスト (60) <input type="radio"/> 選択 (60)	

項目の機能タグ - Mozilla Firefox

localhost https://localhost/site/test_ cate_list/function

クリックすると
ポップアップ表示

機能
タグ

項目の機能タグ

HTMLコード内に、以下の書式を記載することで、CMS側で設定した内容が表示されます。
/tpl/default.html のソースコードも参考にしてください。

説明	書式	項目の機能タグの記述方法
項目名を表示	<code><?=\$bukken->getCInfo("id_title", \$cate_id)?></code>	
内容を表示	<code><?=\$bukken->getBInfo("id_value", \$bukken_id)?></code>	
単位を表示	<code><?=\$bukken->getBInfo("id_tani", \$bukken_id)?></code>	

写真の機能タグ - Mozilla Firefox

localhost https://localhost/ bukken/cate_list/function2.php

クリックすると
ポップアップ表示

写真の機能タグ

HTMLコード内に、以下の書式を記載することで、CMS側で設定した内容が表示されます。
/tpl/default.html のソースコードも参考にしてください。

内容	書式	写真の機能タグの記述方法
[写真1]	<code><img src="<?=\$bukken->getImagePath(\$bukken_id, 1)?" width="<?=\$bukken->getI</code>	
[写真2]	<code><img src="<?=\$bukken->getImagePath(\$bukken_id, 2)?" width="<?=\$bukken->getI</code>	
[写真3]	<code><img src="<?=\$bukken->getImagePath(\$bukken_id, 3)?" width="<?=\$bukken->getI</code>	
[写真4]	<code><img src="<?=\$bukken->getImagePath(\$bukken_id, 4)?" width="<?=\$bukken->getI</code>	
[写真5]	<code><img src="<?=\$bukken->getImagePath(\$bukken_id, 5)?" width="<?=\$bukken->getImageSize(w, 幅, 高)?", height="<?=\$bukken->getImageSize(h, 幅, 高)?" /></code>	
[写真6]	<code><img src="<?=\$bukken->getImagePath(\$bukken_id, 6)?" width="<?=\$bukken->getImageSize(w, 幅, 高)?", height="<?=\$bukken->getImageSize(h, 幅, 高)?" /></code>	
[写真7]		

<その他の機能タグ>

<?=\$_top_path?>

サイトトップまでの相対パスを表示します。

<?=\$general->http?>

admin画面で設定したドメインURL (http)を表示します。

<?=\$general->https?>

admin画面で設定したSSLドメインURL (https)を表示します。

<?=\$general->error?>

admin画面で設定したエラーURLを表示します。

<?=\$general->gmap_api?>

admin画面で設定したGoogle Maps API Keyを表示します。

<?=\$general->mb_domain?>

admin画面で設定した携帯電話ドメインを表示します。

※複数ある場合には半角スペース区切りとなります。

<?=\$general->getFormval("name属性値")?>

フォームから入力した内容をフォームへ再表示するときに使用します。

【使用例】

```
<input type="text" name="address" value="<?=$general->getFormval("address")?>">
<textarea name="comment"><?=$general->getFormval("comment")?></textarea>
```

<?=\$general->inChecked("name属性値", "value値")?>

フォームから選択したradio/checkboxに 'checked' を表示します。

【使用例 1】

```
<input type="radio" name="seibetu" value="男性" <?=$general->inChecked("seibetu", "男性")?> >
<input type="radio" name="seibetu" value="女性" <?=$general->inChecked("seibetu", "女性")?> >
```

【使用例 2】

```
<input type="checkbox" name="doui" value="する" <?=$general->inChecked("doui", "する")?> >
```

`<?=$general->inSelected("name属性値", "value値")?>`

フォームから選択したselectに 'selected' を表示します。

【使用例】

```
<select name="pref">
<option value="北海道" <?=$general->inSelected("pref", "北海道")?> >北海道</option>
<option value="青森" <?=$general->inSelected("pref", "青森")?> >青森</option>
</select>
```

`<?=$general->getDspval("name属性値", "モード")?>`

フォームから入力した内容を無害化 (XSS対策) してHTMLに表示する

モード

normal : http://から始まる文字列はそのまま表示

link : http://から始まる文字列はテキストリンクで表示 (リンク先は target="_blank" で表示)

【使用例】

```
<p><?=$general->getDspval("name", "link")?></p>
```

`<?=$general->getDspRaw($data, "リンクパラメータ", "長さ")?>`

データを無害化 (XSS対策) してHTMLに表示する

\$data

表示するデータ

リンクパラメータ [省略した場合には normal と同じ]

normal : http://から始まる文字列はそのまま表示

link : http://から始まる文字列はテキストリンクで表示 (リンク先は target="_blank" で表示)

長さ [省略した場合は all と同じ]

all : 全データ表示

数値 : 数値分文字を取り出して、残りは「.」とする

【使用例】

```
<p><?=$general->getDspRaw($data, "link", "all")?></p>
```

<?=\$general->getFDate(“日時文字列”, フォーマットモード)?>

日時文字列 (YYYY-MM-DD HH:ii:ss)を指定フォーマットに変換して表示します。

日時文字列

YYYY-MM-DD HH:ii:ss 形式の文字列

フォーマットモード

1 : yyyy年 mm月 dd日

2 : yyyy年 mm月

3 : mm月 dd日

4 : yyyy/mm/dd

5 : yyyy/mm

6 : mm/dd

7 : hh:ii (hh or iiが0の場合には無処理)

8 : hh:ii

<?=\$general->getNewIcon(“掲載日付”, 掲載期間, “画像へのパス”)?>

「掲載日付 + 掲載期間 >= 本日」の場合、NEWアイコンを表示します。

掲載日付

YYYY-MM-DD HH:ii:ss 形式の文字列

掲載期間

掲載期間(単位:日) 例:本日から過去○日まで

画像へのパス

NEWアイコン画像へのパス

【使用例】

<?=\$general->getNewIcon(“2010-11-01 00:00:00”, 10000, “../cms/common/images/new.gif”)?>

`<?=$general->getQRCode(“QRコードに変換する文字列”)?>`

QRコードのイメージ画像を表示します。

【使用例】

`<img src=“<?=$general->getQRCode(“mail@hogehoge.jp”)?>”>`

`<?php $dbauth->loginOther(“指定URL”)?>`

ログイン中かどうかチェックし、ログイン処理を行います。

処理詳細は以下です。

1. 未ログインの場合は、指定したURLにジャンプ
 2. 指定URLでログイン処理後、元のページに戻ってくる(GET値はそのまま)
 3. 既にログイン済の場合は、無処理
-

`<?php $dbauth->logout(“指定URL”)?>`

ログアウト処理を行います。

このタグを利用する前に、必ず `<?php $general->sessionMng() ?>`の1行を記載してください。

処理内容は以下です。

1. ログアウトする
 2. ログアウト後、指定URLへジャンプ
-

`<?=$_SESSION[“__user_id”]?>`

ログイン中のユーザーIDを表示します。

`<?=$dbauth->getUIInfo($_SESSION[“__user_id”], “種別”)?>`

ログイン中のユーザー情報を表示します。

種別

auth_level : 権限レベルを表示

username : ログイン用メールアドレス、またはIDを表示

pc_address : メールアドレスを表示

fname : 名前(姓)を表示

lname : 名前(名)を表示

fkana : カナ(姓)を表示

lkana : カナ(名)を表示

hname : ニックネームを表示

※その他のユーザー情報を表示する場合には、common/plugin/dbauth/module/define.php に定義してある、dbauth_userテーブルのフィールド名を参考にしてください。

`<?php $dbauth->checkAuthLevel(チェックする権限レベル, “指定URL”, チェックモード)?>`
ログイン中ユーザーの認証レベルをチェックし、該当しないユーザーを指定URLへ強制ジャンプさせます。

チェックモード

- 1 : 指定レベルよりも低いかチェック
- 2 : 指定レベルよりも高いかチェック
- 3 : 指定レベルかチェック

`<?=$bukken->getNewIcon(物件ID, “NEWアイコン画像へのパス”, “alt属性値”)??>`
物件登録画面で、状態に「NEW」を選択した物件に、任意のNEWアイコンを表示します。

`<?=$bukken->getCName(物件ID)?>`
該当物件が所属するカテゴリ名を表示

`$bukken->isImage(物件ID, 写真番号1～20)`
if文と組み合わせて、写真がアップロードされているか判断します。

【使用例】

```
<?php if($bukken->isImage($bukken_id, 1)) {?> <!-- 画像1はアップロードされているか -->
    ここに画像がアップロードされている時のコードを記述
<?php }?>
```

`$bukken->isMovie(物件ID, 動画番号1～3)`
if文と組み合わせて、動画がアップロード、またはYouTube設定されているか判断します。

【使用例】

```
<?php if($bukken->isMovie($bukken_id, 1)) {?> <!-- 動画1はアップロードされているか -->
    ここに動画がアップロードされている時のコードを記述
<?php }?>
```

`$bukken->isPDF(物件ID, PDF番号1～3)`
if文と組み合わせて、PDFがアップロードされているか判断します。

【使用例】

```
<?php if($bukken->isPDF($bukken_id, 1)) {?> <!-- PDF1はアップロードされているか -->
    ここにPDFがアップロードされている時のコードを記述
<?php }?>
```

\$bukken->isMap (物件ID)

if文と組み合わせて、Google Map を利用する設定かどうか判断します。

【使用例】

```
<?php if($bukken->isMap($bukken_id) ){?> <!-- Google Map は利用するか -->
    利用する場合にはここにコードを記述
<?php }?>
```

\$bukken->isSView (物件ID)

if文と組み合わせて、ストリートビュー を利用する設定かどうか判断します。

【使用例】

```
<?php if($bukken->isSView($bukken_id) ){?> <!-- ストリートビュー は利用するか -->
    利用する場合にはここにコードを記述
<?php }?>
```

<?=\$bukken->getTubo (㎡)?>

㎡を坪に変換して表示します。

<?=\$bukken->getHeiho (坪)?>

坪を㎡に変換して表示します。

<?=\$bukken->getBukkenSu (表示モード)?>

公開中物件の総数を表示します。

表示モード

- なし : 全ての物件総数
- 1 : 一般公開用物件総数
- 2 : 会員限定の公開物件総数

2. 注目物件をカテゴリ別に表示する方法

トップページ(index.php)に表示する『注目物件』はデフォルトでは **全カテゴリを1つの枠内** に表示します。ここでは注目物件表示のカスタマイズ方法について解説します。

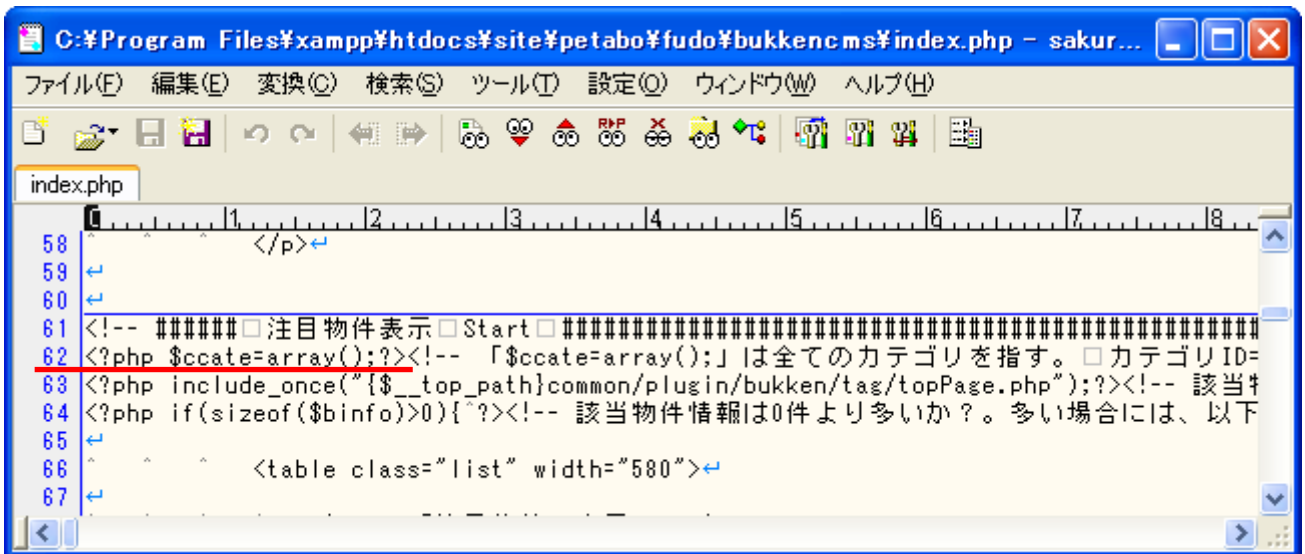
<1つの枠内に、指定カテゴリのみ表示する方法>

index.phpファイルの62行目に、`<?php $ccate=array();?>` というコードがあります。このコードが全てのカテゴリを指すという意味を持っています。

カテゴリID=1のみ表示する場合には、`<?php $ccate=array(1);?>`

カテゴリID=1と2のみ表示する場合には、`<?php $ccate=array(1,2);?>`

というふうに記述してください。



```
C:\Program Files\xampp\htdocs\site\petabo\fudo\bukkencms\index.php - sakur...
ファイル(F) 編集(E) 変換(C) 検索(S) ツール(T) 設定(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
index.php
58 </p>
59
60
61 <!-- ##### □注目物件表示 □Start □#####
62 <?php $ccate=array();?><!-- 「$ccate=array();」は全てのカテゴリを指す。 □カテゴリID=
63 <?php include_once("{$_top_path}common/plugin/bukken/tag/topPage.php");?><!-- 該当
64 <?php if(sizeof($binfo)>0){^?><!-- 該当物件情報は0件より多いか？。多い場合には、以下
65
66 <table class="list" width="580">
67
```

カテゴリIDは、CMSページの「物件管理」タブの中の「カテゴリー一覧」メニューを参照してください。

3. カテゴリ別に物件一覧を用意する方法

デフォルトで用意されている「物件一覧」のテンプレートは、**全てのカテゴリ共通**のテンプレートとなっております。

各カテゴリ毎の一覧(賃貸だけの一覧や、販売だけの一覧)を作成する場合には、**search.php をコピーして作成**することができます。

例えば、カテゴリID=1(賃貸)、カテゴリID=2(販売)があり、それぞれの一覧ページを用意したい場合には、以下の手順で作成できます。

- ①search.php をコピーして、search_chintai.php 、search_hanbai.php をつくります。
- ②search_chintai.php のデザインを、賃貸用に修正
- ③search_hanbai.php のデザインを、販売用に修正
- ④トップページから、賃貸用の一覧にアクセスする場合には、search_chintai.php?cate_id[]=1 とすれば、賃貸情報のみのデータが検出される一覧が表示。
- ⑤トップページから、販売用の一覧にアクセスする場合には、search_hanbai.php?cate_id[]=2 とすれば、販売情報のみのデータが検出される一覧が表示。

というふうにします。

4. エリア別に表示する方法

例えば、「北部」「南部」「東部」「西部」などエリア別に物件一覧を表示したい場合があります。そのような時には、物件項目の『エリア』を使用すると便利です。

まず、該当のカテゴリの「物件項目設定」で「エリア」の設定をします。

すると、「物件登録」画面でそのカテゴリを選ぶと、エリアが選べるようになります。

物件情報を登録する際には、エリアを選ぶようにしてください。

※既に登録中物件の場合には、編集画面から再度「保存」をクリックすると反映されます。

物件項目設定画面

物件管理 CMS ようこそ user@ne.jp さん | サイトを確認 | ログアウト | 退会処理

物件管理 アカウント管理

物件一覧 物件登録 **カテゴリ一覧** カテゴリ登録 注目物件設定

カテゴリ毎の物件項目設定

>> 前のページに戻る

カテゴリ【賃貸】の物件項目を設定します。

項目移動をクリックへ変更 写真の機能タグ

表示	表示順	項目名	項目の入力方法	項目の単位
<input checked="" type="checkbox"/>	ドラッグ 移動	入力例: 管理ID 管理ID	<input checked="" type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 必須 <input checked="" type="radio"/> テキスト (50) <input type="radio"/> 選択 (60)	1つ入力:表示 複数入力:選択 (25)
<input checked="" type="checkbox"/>	ドラッグ 移動	入力例: 物件名【検索対象】 物件名	<input type="radio"/> 任意 <input checked="" type="radio"/> 必須 <input checked="" type="radio"/> テキスト (50) <input type="radio"/> 選択 (60)	1つ入力:表示 複数入力:選択 (25)
<input checked="" type="checkbox"/>	ドラッグ 移動	入力例: 物件名(かぬ)【検索対象】 物件名(かぬ)	<input type="radio"/> 任意 <input checked="" type="radio"/> 必須 <input checked="" type="radio"/> テキスト (50) <input type="radio"/> 選択 (60)	1つ入力:表示 複数入力:選択 (25)
<input checked="" type="checkbox"/>	ドラッグ 移動	入力例: エリア エリア	<input type="radio"/> 任意 <input checked="" type="radio"/> 必須 <input type="radio"/> テキスト (50) <input checked="" type="radio"/> 選択 (20000)	1つ入力:表示 複数入力:選択 (25)

物件登録画面

物件管理 CMS

物件管理 アカウント管理

物件一覧 **物件登録** カテゴリ一覧 カテゴリ登録 注目

物件登録

カテゴリ【賃貸】の物件情報を新規登録します。

< 写真ファイル > < JPEG、GIFのみ可 >

[写真 1] [写真 2] [写真 3] [写真 4] [写真 5]

[更新] [更新] [更新] [更新] [更新]

[写真 11] [写真 12] [写真 13] [写真 14] [写真 15]

[更新] [更新] [更新] [更新] [更新]

< 動画ファイル > < FLV、WMVのみ可 > < PDFファイル >

[動画 1] [動画 2] [動画 3] [PDF 1] [PDF 2] [PDF 3]

[なし] [なし] [なし] [なし] [なし] [なし]

[更新] [更新] [更新] [更新] [更新] [更新]

< 詳細情報 >

項目名	内容
管理ID	<input type="text"/>
物件名【必須】	<input type="text"/>
物件名(かぬ)【必須】	<input type="text"/>
エリア【必須】	北部

エリアの設定をして、「表示」にチェックをいれる

すると、物件登録画面で「エリア」が選べるようになる。

次に、検索ボックスのでも、エリア検索機能を有効にします。

search.php の310行～320行のコメントを解除し、CMSに合わせて内容を変更しましょう。

CMS側で設定したように、以下のように修正する

```
<input type="checkbox" id="search_area1" name="search_area[]" value="北部"
<?=$general->inChecked("search_area", "北部", "LIKE")?> >&nbsp;&nbsp;&nbsp;<label for="search_area1">北部</label>&nbsp;&nbsp;&nbsp;
<input type="checkbox" id="search_area2" name="search_area[]" value="南部"
<?=$general->inChecked("search_area", "南部", "LIKE")?> >&nbsp;&nbsp;&nbsp;<label for="search_area2">南部</label>&nbsp;&nbsp;&nbsp;
<input type="checkbox" id="search_area3" name="search_area[]" value="東部"
<?=$general->inChecked("search_area", "東部", "LIKE")?> >&nbsp;&nbsp;&nbsp;<label for="search_area3">東部</label>&nbsp;&nbsp;&nbsp;
<input type="checkbox" id="search_area4" name="search_area[]" value="西部"
<?=$general->inChecked("search_area", "西部", "LIKE")?> >&nbsp;&nbsp;&nbsp;<label for="search_area4">西部</label>&nbsp;&nbsp;&nbsp;
```

以上で、検索ボックスに「エリア」が追加されて、検索もできるようになります。

“北部”や“南部”だけに特化した検索ページを作りたい場合があります。

その場合には、まず search.php をコピーして、「search_hokubu.php (北部)」、「search_nanbu.php (南部)」、「search_toubu.php (東部)」、「search_seibu.php (西部)」をつくります。

そして、それぞれのアクセス先を以下のようにすれば、それぞれの地方に特化した検索ページが作成できます。

```
<a href="search_hokubu.php?search_area[]=<?=urlencode("北部")?>"> ※北部のみの検索ページ  
<a href="search_nanbu.php?search_area[]=<?=urlencode("南部")?>"> ※南部のみの検索ページ  
<a href="search_toubu.php?search_area[]=<?=urlencode("東部")?>"> ※東部のみの検索ページ  
<a href="search_seibu.php?search_area[]=<?=urlencode("西部")?>"> ※西部のみの検索ページ
```

また、この機能を応用することにより、

```
<a href="search_hokubu.php?cate_id[]=1&search_area[]=<?=urlencode("北部")?>">
```

とすれば、北部にあるカテゴリID=1の物件のみの検索ページも作成できます。

カテゴリIDは、CMSページの「物件管理」タブの中の「カテゴリー一覧」メニューを参照してください。

5. 検索タグ入力欄のチェックボックス化

物件管理-CMSでは、検索タグの入力欄が「テキスト入力」になっています。

しかし、既に検索タグのワードが決まっていて、毎回入力するのが面倒な場合には、チェックボックスにしてしまうほうがとても楽になります。

ここでは、検索タグの入力欄(物件登録画面と、物件検索画面)をチェックボックスにする方法を説明します。

<物件登録画面の「検索タグ」のチェックボックス化>

cms/bukken/bukken_add/html/add_bukken_entry.html を以下のように修正してください。

これで、検索タグ入力欄がチェックボックス化されます。

```
435
436 <general->getFormval('tag_value', 'dsp', 'r'); ?>
437
438 <!-- 検索タグをcheckboxで指定する時 Start -->
439 <!--
440 <input id="ktag_1" type="checkbox" name="tag_value_list[]" value="東京都" onClick
441 <input id="ktag_2" type="checkbox" name="tag_value_list[]" value="西武池袋線" or
442 <input id="ktag_3" type="checkbox" name="tag_value_list[]" value="中村橋駅" onCl
443 <input type="hidden" name="tag_value" value="<?=$general->getFormval('tag_value'
444 -->
445 <!-- 検索タグをcheckboxで指定する時 End -->
446
447 <!-- 検索タグに任意のワードを指定する時 Start -->
448 <input type="text" name="tag_value" value="<?=$general->getFormval('tag_value',
449 <p class="mt5">複数入力する時は、半角スペースで区切ってください。</p>
450 <!-- 検索タグに任意のワードを指定する時 End -->
451
452 </td>
453 >
454
```

コメント中のコードを有効にする

サンプルとして「東京都」「西武池袋線」「中村橋駅」となっているが、ここを任意の文字(検索タグ)に修正する。

有効になっているコードをコメントにする

<物件検索ボックスの「検索タグ」のチェックボックス化>

search.php を以下のように修正してください。

これで、検索タグ入力欄がチェックボックス化されます。

The screenshot shows a Notepad++ window titled "C:\Program Files\xampp\htdocs\site\test_lolipop\bukkencms\search.php - saku...". The code is as follows:

```
521  
522  
523 im($general->getFormval('tag', 'dsp', 'no...'); ?>  
524  
525 <!-- 検索タグをcheckboxで指定する時 Start -->  
526 <!--  
527 <input id="ktag_1" type="checkbox" name="tag_value_list[]" value="東京都" onCl  
528 <input id="ktag_2" type="checkbox" name="tag_value_list[]" value="西武池袋線" or  
529 <input id="ktag_3" type="checkbox" name="tag_value_list[]" value="中村橋駅" onCl  
530 <input type="hidden" name="tag" value="<?=$general->getFormval('tag')?>" />  
531 -->  
532 <!-- 検索タグをcheckboxで指定する時 End -->  
533  
534 <!-- 検索タグに任意のワードを指定する時 Start -->  
535 <input type="text" class="text w400" name="tag" value="<?=$general->getFormval('tag')?>" />  
536 <p style="font-size:11px;">複数入力 (OR検索) する時は、半角スペースで区切って入力してください。</p>  
537 <!-- 検索タグに任意のワードを指定する時 End -->  
538  
539 </td>  
540 >
```

Annotations in the image:

- A yellow callout box at the top center says: "コメント中のコードを有効にする" (Enable code in comments).
- A yellow callout box at the top right says: "サンプルとして「東京都」「西武池袋線」「中村橋駅」となっているが、ここを任意の文字(検索タグ)に修正する。" (Sample as "Tokyo", "Seibu Ikebukuro Line", "Nakunobashi Station" but correct to arbitrary text (search tag)).
- Red boxes highlight the checkbox code (lines 527-530) and the text input code (lines 535-536).
- A yellow callout box at the bottom right says: "有効になっているコードをコメントにする" (Comment out code that is active).

6. マイページの項目を増やす方法

ここでは、マイページにあるユーザー項目の増やし方を説明します。若干MySQLの知識を必要とします。

修正対象ファイル

修正するファイルは、以下の9ファイルです。

フォルダ、ファイル名	説明
common/plugin/dbauth/module/define.php	データベース定義ファイル
common/plugin/dbauth/ctl/html/edit_account_entry.html	ユーザー情報編集(admin)
common/plugin/dbauth/ctl/html/edit_account_check.html	ユーザー情報編集確認(admin)
account/html/new_account_entry.html	ユーザー情報登録
account/html/new_account_check.html	ユーザー情報登録確認
account/index.php	ユーザー情報登録処理
mypage/minfo/html/edit_account_entry.html	ユーザー情報編集
mypage/minfo/html/edit_account_check.html	ユーザー情報編集確認
mypage/minfo/index.php	ユーザー情報編集処理

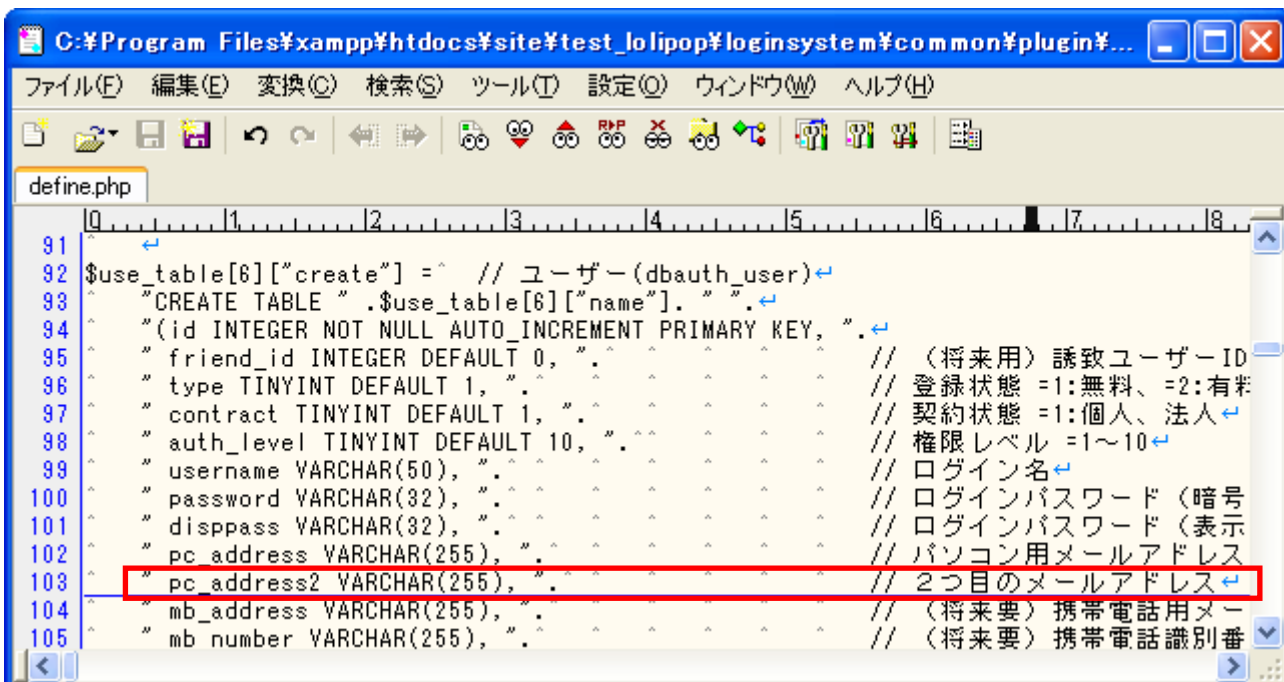
例として、ユーザーデータに新たに『2つ目のメールアドレス』を追加する方法を記載します。

次頁以降、修正ファイル毎に説明します。

「データベース定義」 ファイルの修正

`common/plugin/dbauth/module/define.php` ファイルには、システムに必要なテーブルが定義されています。項目の追加は「ユーザーテーブル(dbauth_user)」に対して行います。

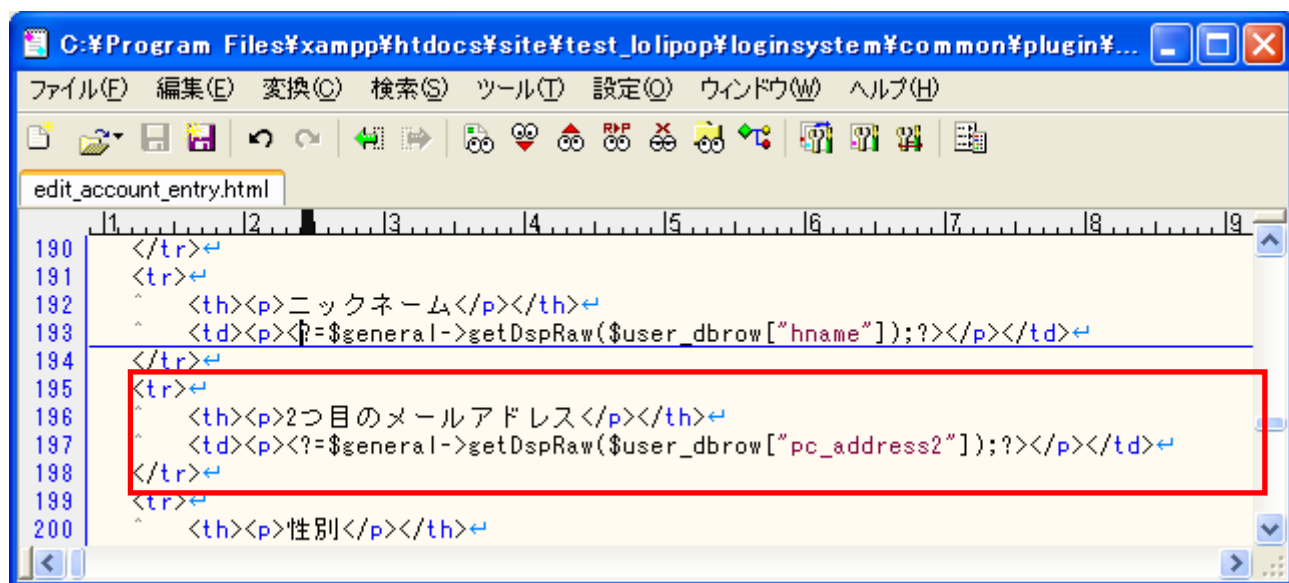
以下のソースコードのように、dbauth_userテーブルに項目(pc_address2)を追加してください。追加する項目は文字列とするので、ここでは型をVARCHARとします。



```
91
92 $use_table[6]["create"] = ^ // ユーザー(dbauth_user)
93 ^ "CREATE TABLE " . $use_table[6]["name"] . " " .
94 ^ "(id INTEGER NOT NULL AUTO_INCREMENT PRIMARY KEY, " .
95 ^ " friend_id INTEGER DEFAULT 0, " . // (将来用) 誘致ユーザーID
96 ^ " type TINYINT DEFAULT 1, " . // 登録状態 =1:無料、=2:有料
97 ^ " contract TINYINT DEFAULT 1, " . // 契約状態 =1:個人、法人
98 ^ " auth_level TINYINT DEFAULT 10, " . // 権限レベル =1~10
99 ^ " username VARCHAR(50), " . // ログイン名
100 ^ " password VARCHAR(32), " . // ログインパスワード (暗号
101 ^ " disppass VARCHAR(32), " . // ログインパスワード (表示
102 ^ " pc_address VARCHAR(255), " . // パソコン用メールアドレス
103 ^ " pc_address2 VARCHAR(255), " . // 2つ目のメールアドレス
104 ^ " mb_address VARCHAR(255), " . // (将来要) 携帯電話用メー
105 ^ " mb_number VARCHAR(255), " . // (将来要) 携帯電話識別番
```

「ユーザー情報編集」ファイル(admin)の修正

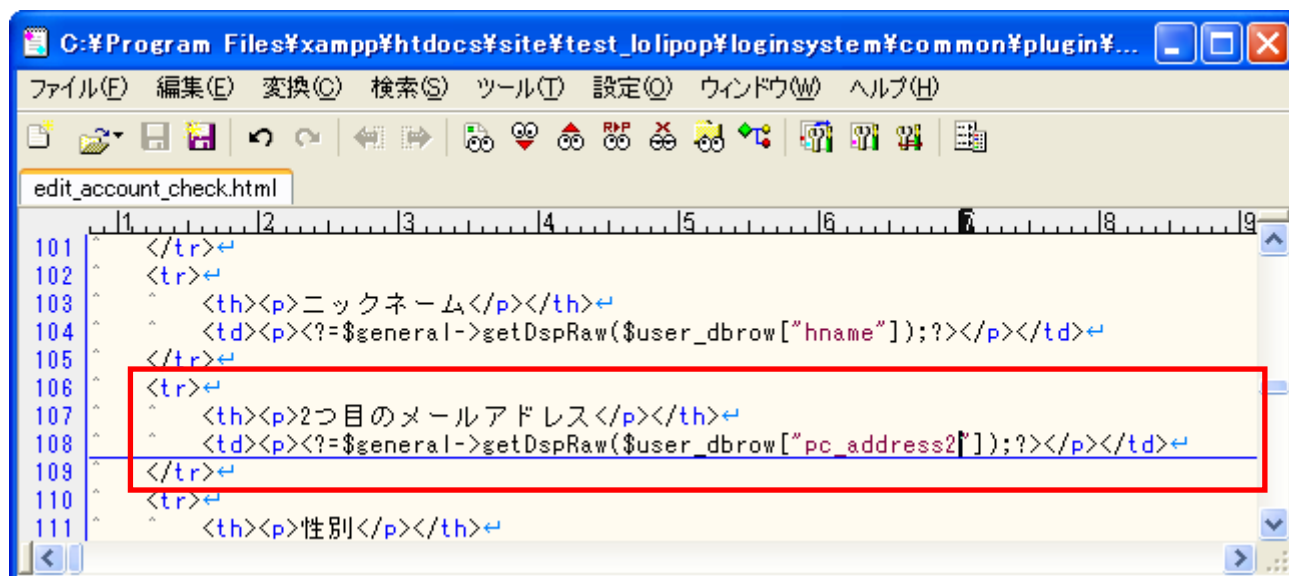
以下のように、common/plugin/dbauth/ctl/html/edit_account_entry.html ファイルにコードを記入してください。



```
edit_account_entry.html
190 </tr>
191 <tr>
192 ^ <th><p>ニックネーム</p></th>
193 ^ <td><p>↑=$general->getDspRaw($user_dbrow["hname"]);?</p></td>
194 </tr>
195 <tr>
196 ^ <th><p>2つ目のメールアドレス</p></th>
197 ^ <td><p><?=$general->getDspRaw($user_dbrow["pc_address2"]);?</p></td>
198 </tr>
199 <tr>
200 ^ <th><p>性別</p></th>
```

「ユーザー情報編集確認」ファイル(admin)の修正

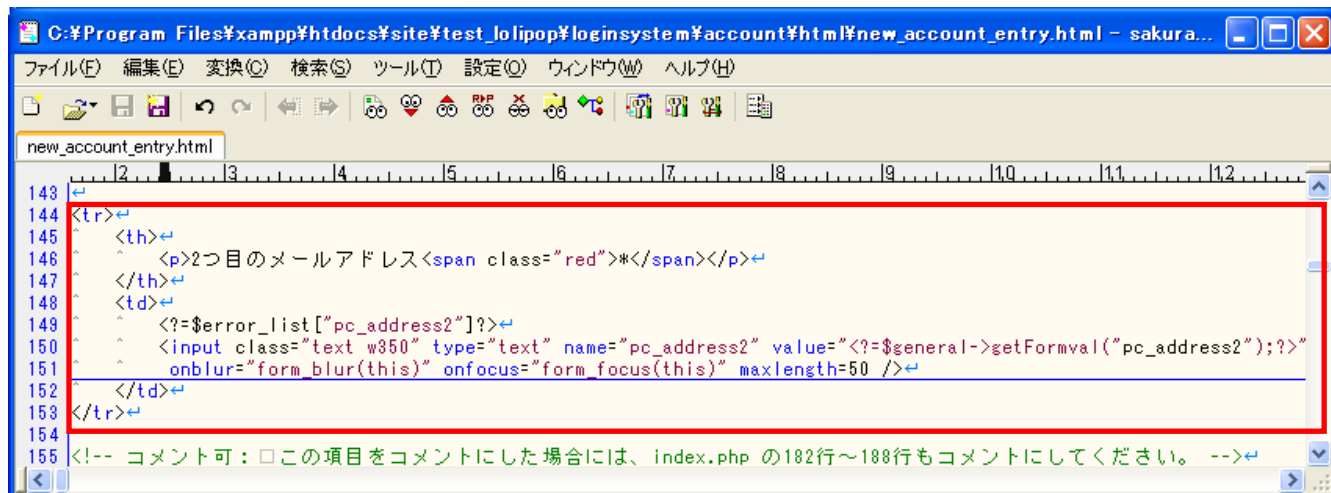
以下のように、common/plugin/dbauth/ctl/html/edit_account_check.html ファイルにコードを記入してください。



```
edit_account_check.html
101 </tr>
102 <tr>
103 ^ <th><p>ニックネーム</p></th>
104 ^ <td><p><?=$general->getDspRaw($user_dbrow["hname"]);?</p></td>
105 </tr>
106 <tr>
107 ^ <th><p>2つ目のメールアドレス</p></th>
108 ^ <td><p><?=$general->getDspRaw($user_dbrow["pc_address2"]);?</p></td>
109 </tr>
110 <tr>
111 ^ <th><p>性別</p></th>
```

「ユーザー情報登録」 ファイルの修正

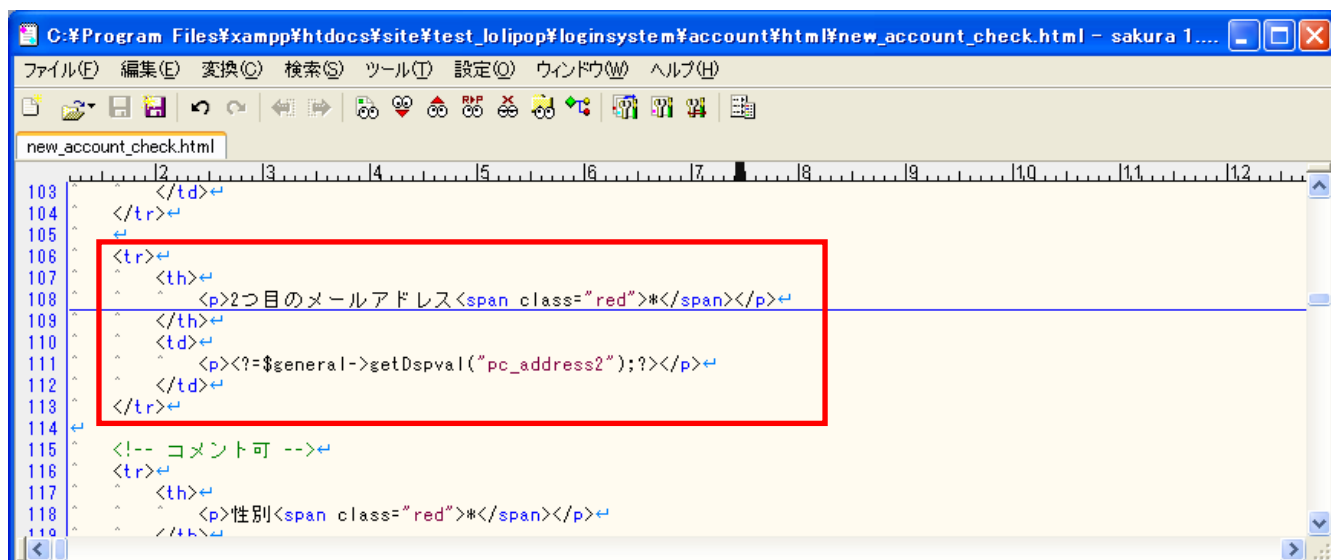
以下のように、account/html/new_account_entry.html ファイルにコードを記入してください。



```
143 <tr>
144 <th>
145 <p>2つ目のメールアドレス<span class="red">*</span></p>
146 </th>
147 <td>
148 <?=$error_list["pc_address2"]?>
149 <input class="text w350" type="text" name="pc_address2" value="<?=$general->getFormval("pc_address2");?"
150 onblur="form_blur(this)" onfocus="form_focus(this)" maxlength=50 />
151 </td>
152 </tr>
153 </tr>
154
155 <!-- コメント可 : □この項目をコメントにした場合には、index.php の182行~188行もコメントにしてください。 -->
```

「ユーザー情報登録確認」 ファイルの修正

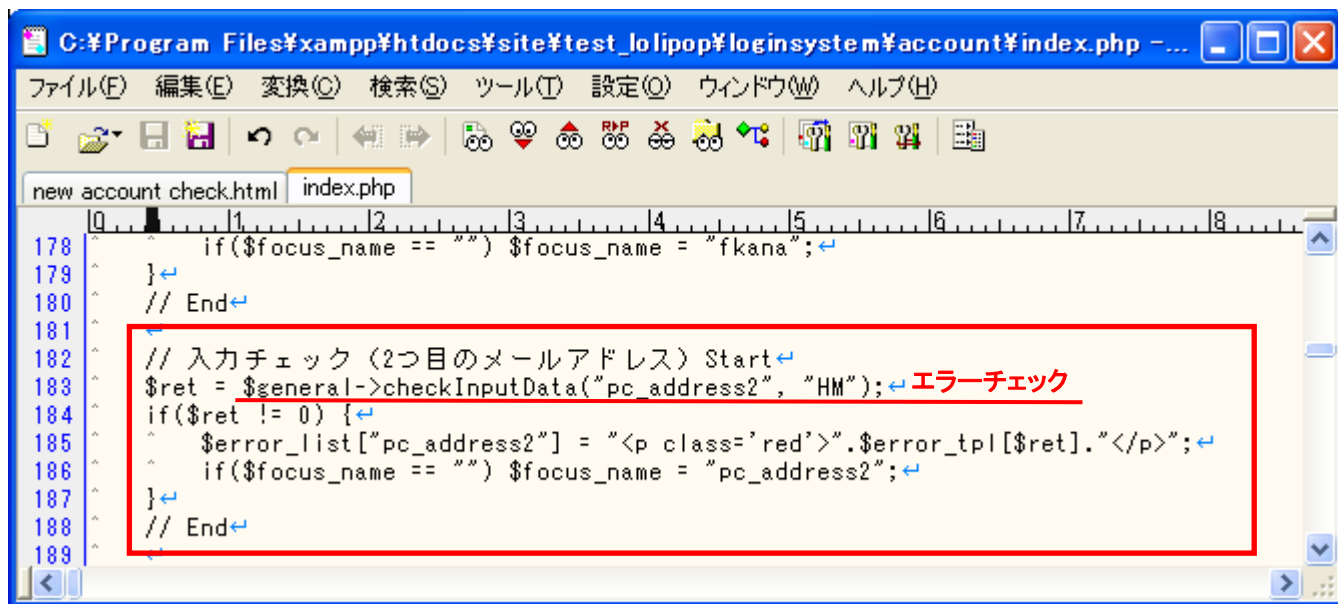
以下のように、account/html/new_account_check.html ファイルにコードを記入してください。



```
103 </td>
104 </tr>
105
106 <tr>
107 <th>
108 <p>2つ目のメールアドレス<span class="red">*</span></p>
109 </th>
110 <td>
111 <p><?=$general->getDspval("pc_address2");?></p>
112 </td>
113 </tr>
114
115 <!-- コメント可 -->
116 <tr>
117 <th>
118 <p>性別<span class="red">*</span></p>
119 </th>
```

「ユーザー情報登録処理」 ファイルの修正

以下のように、account/index.php ファイルにエラーチェックコードを記入してください。
エラーチェックをしない場合には、このコードは不要です。



```
C:\Program Files\xampp\htdocs\site\test_lolipop\loginsystem\account\index.php -...
ファイル(F) 編集(E) 変換(O) 検索(S) ツール(T) 設定(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
new account check.html index.php
178     if($focus_name == "") $focus_name = "fkana";
179     }
180     // End
181
182     // 入力チェック (2つ目のメールアドレス) Start
183     $ret = $general->checkInputData("pc_address2", "HM"); ← エラーチェック
184     if($ret != 0) {
185         $error_list["pc_address2"] = "<p class='red'>".$error_tpl[$ret]."</p>";
186         if($focus_name == "") $focus_name = "pc_address2";
187     }
188     // End
189
```

エラーチェックについて

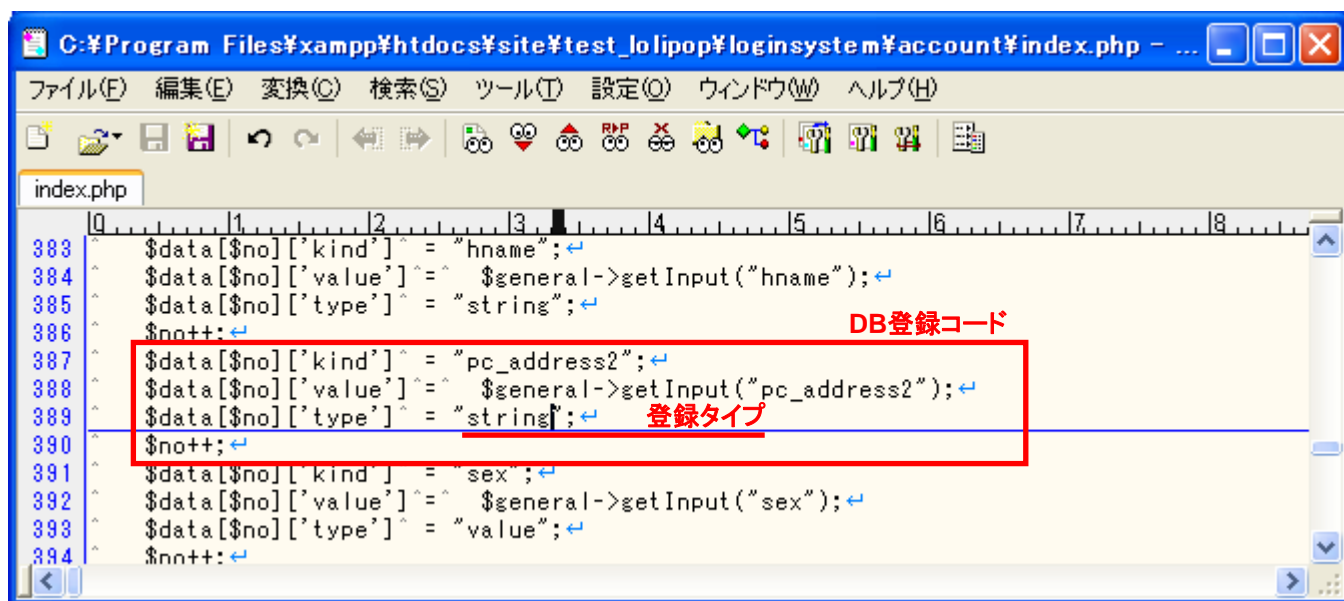
`$general->checkInputData("名前", "モード");` というコードにより、「名前」で指定した入力値のエラーをチェックします。

また、エラーチェックには、以下のモードがあります。

`$general->checkInputData("名前", "H");` . . . 必須チェック
`$general->checkInputData("名前", "Z");` . . . 全角チェック
`$general->checkInputData("名前", "h");` . . . 半角チェック
`$general->checkInputData("名前", "M");` . . . 不正メールアドレスチェック
`$general->checkInputData("名前", "O", 10);` . . . 10文字超過チェック
`$general->checkInputData("名前", "L", 5);` . . . 5文字未満チェック

※H、Z、h、M、O、L は組み合わせても利用できます。

以下のように、account/index.php ファイルにDB登録コードを記入してください。



```
C:\Program Files\xampp\htdocs\site\test_lolipop\loginsystem\account\index.php - ...
ファイル(F) 編集(E) 変換(O) 検索(S) ツール(T) 設定(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
index.php
383 $data[$no]['kind'] = "hname";
384 $data[$no]['value'] = $general->getInput("hname");
385 $data[$no]['type'] = "string";
386 $no++;
387 $data[$no]['kind'] = "pc_address2";
388 $data[$no]['value'] = $general->getInput("pc_address2");
389 $data[$no]['type'] = "string";
390 $no++;
391 $data[$no]['kind'] = "sex";
392 $data[$no]['value'] = $general->getInput("sex");
393 $data[$no]['type'] = "value";
394 $no++;
```

DB登録コード

登録タイプ

登録タイプについて

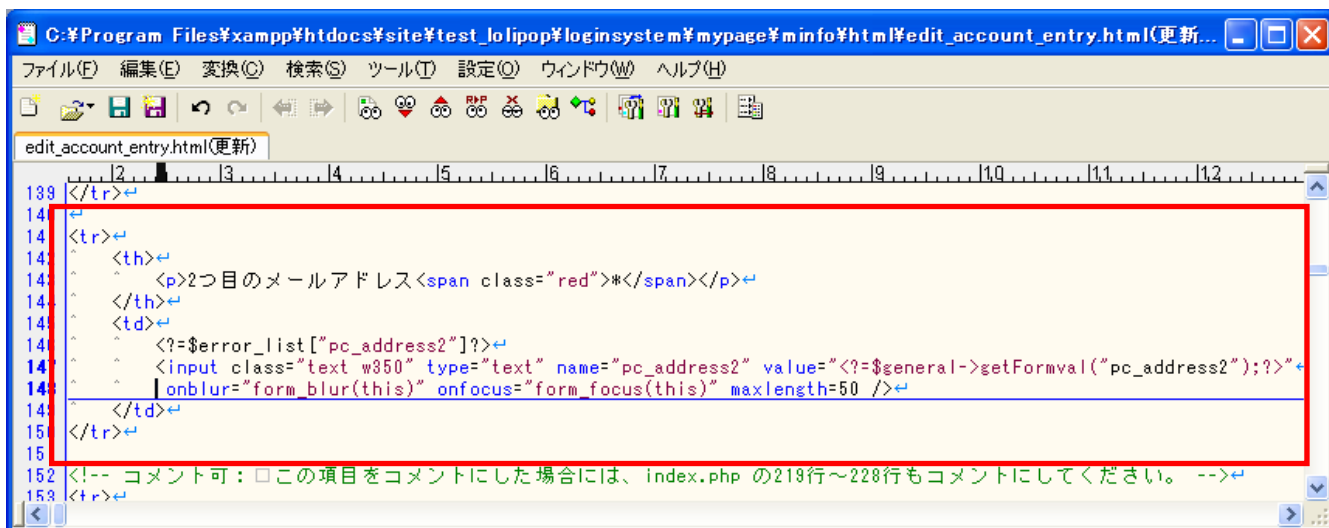
登録タイプは、P34で決めた「型」によります。

VARCHAR、TEXT、DATETIME などは、「string」

INTEGERは、「value」としてください。

「ユーザー情報編集」ファイルの修正

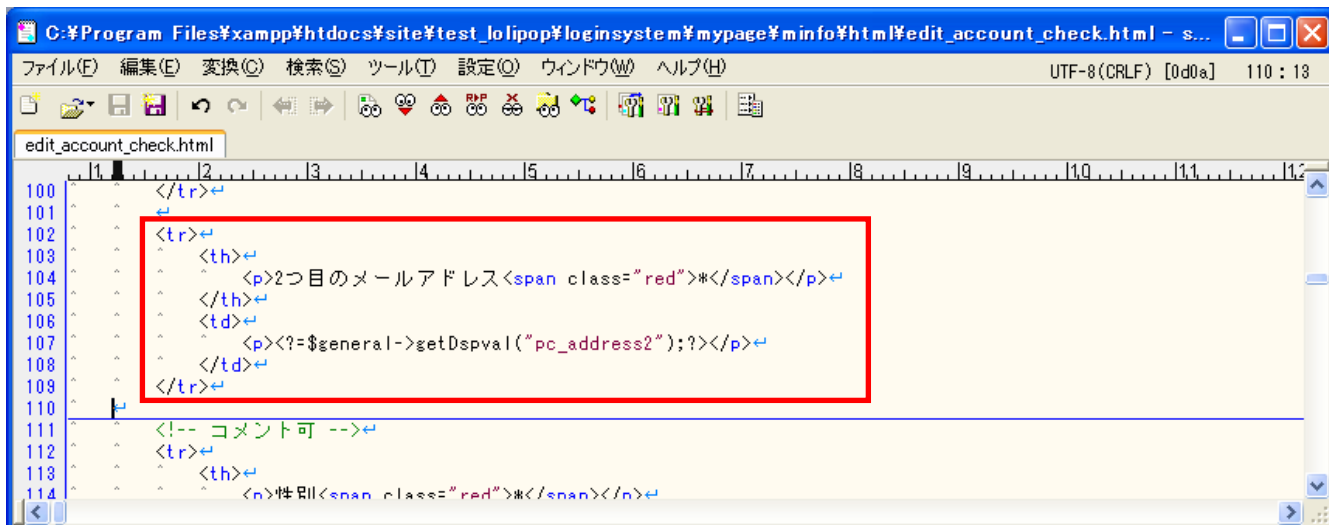
以下のように、mypage/minfo/html/edit_account_entry.html ファイルにコードを記入してください。



```
edit_account_entry.html(更新)
139 </tr>
140 <tr>
141 <th>
142 <p>2つ目のメールアドレス<span class="red">*</span></p>
143 </th>
144 <td>
145 <?=$error_list["pc_address2"]?>
146 <input class="text w350" type="text" name="pc_address2" value="<?=$general->getFormval("pc_address2");?"
147 |onblur="form_blur(this)" onfocus="form_focus(this)" maxlength=50 />
148 </td>
149 </tr>
150 </tr>
151 </tr>
152 <!-- コメント可: □この項目をコメントにした場合には、index.php の219行~228行もコメントにしてください。 -->
153 <tr>
```

「ユーザー情報編集確認」ファイルの修正

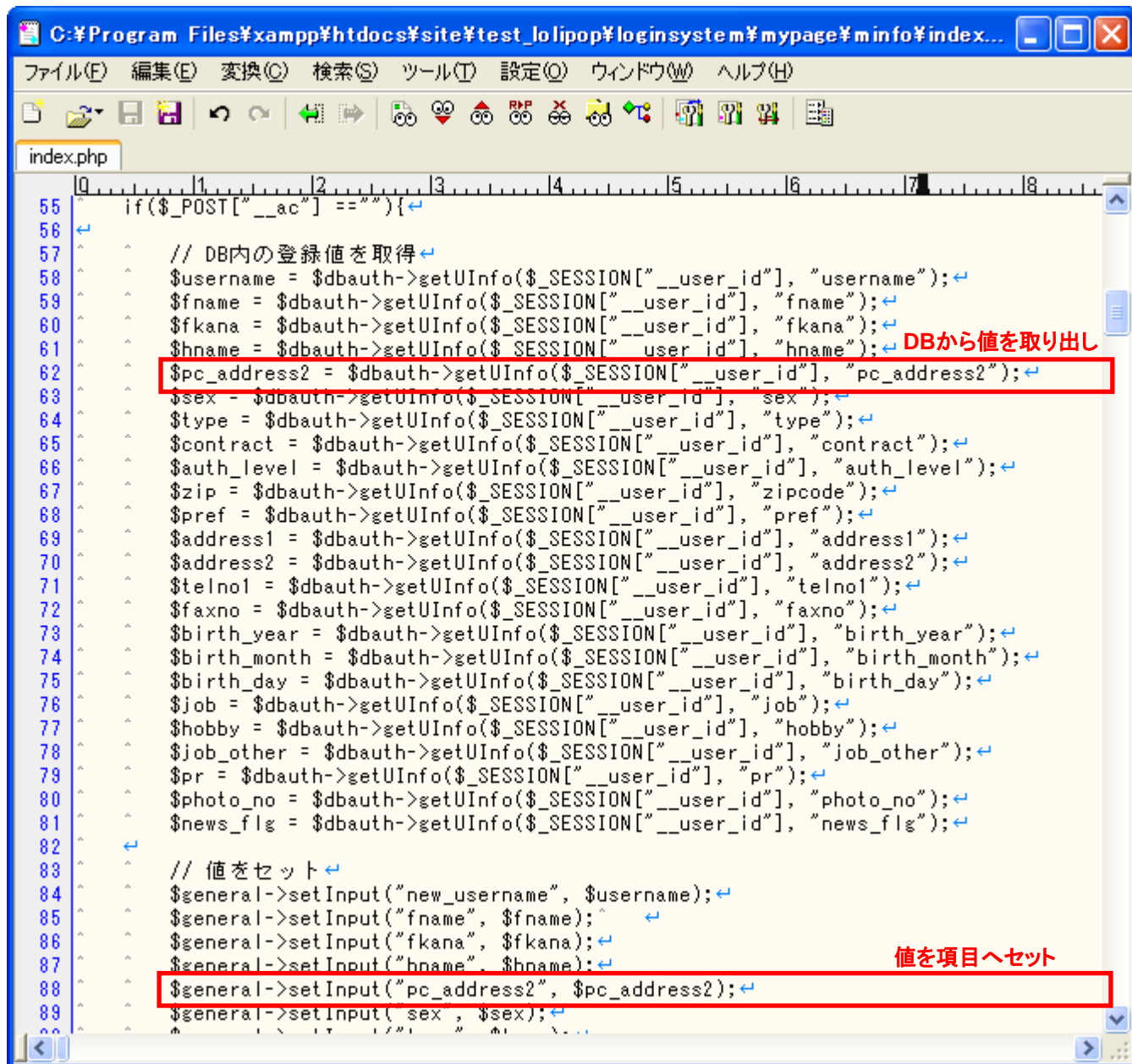
以下のように、mypage/minfo/html/edit_account_check.html ファイルにコードを記入してください。



```
edit_account_check.html
100 </tr>
101 <tr>
102 <th>
103 <p>2つ目のメールアドレス<span class="red">*</span></p>
104 </th>
105 <td>
106 <p><?=$general->getDspval("pc_address2");?</p>
107 </td>
108 </tr>
109 </tr>
110 <tr>
111 <!-- コメント可 -->
112 <tr>
113 <th>
114 <n>性別<span class="red">*</span></n>
```

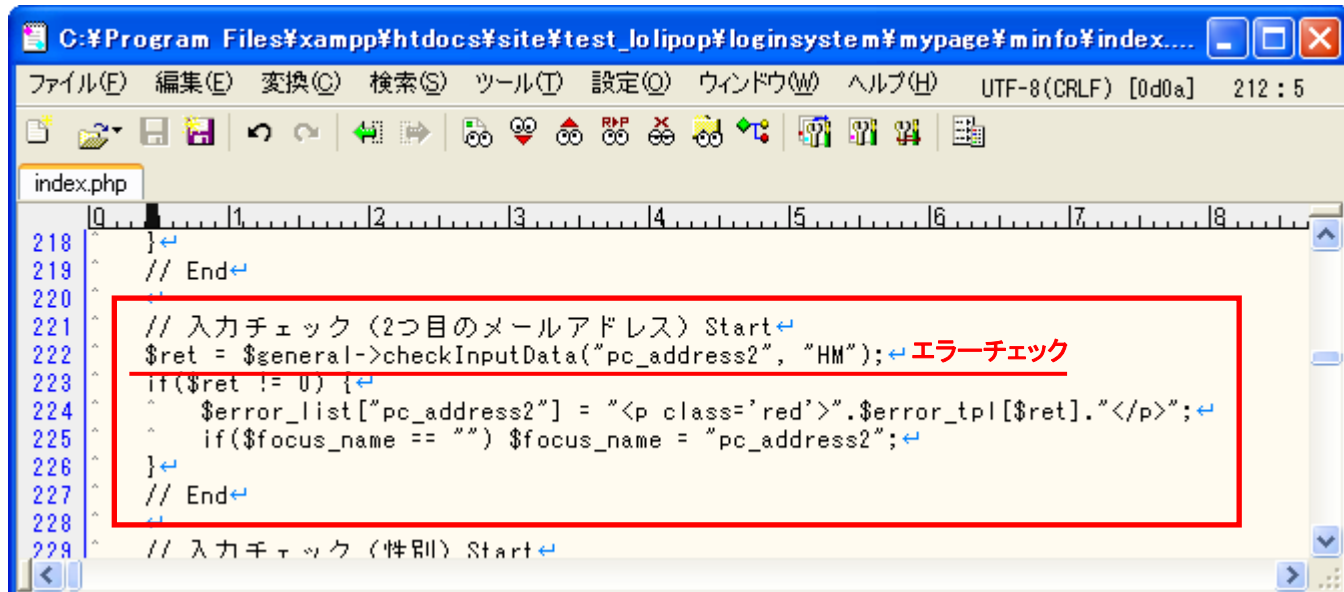
「ユーザー情報編集処理」ファイルの修正

以下のように、mypage/minfo/index.php ファイルにコードを記入してください。



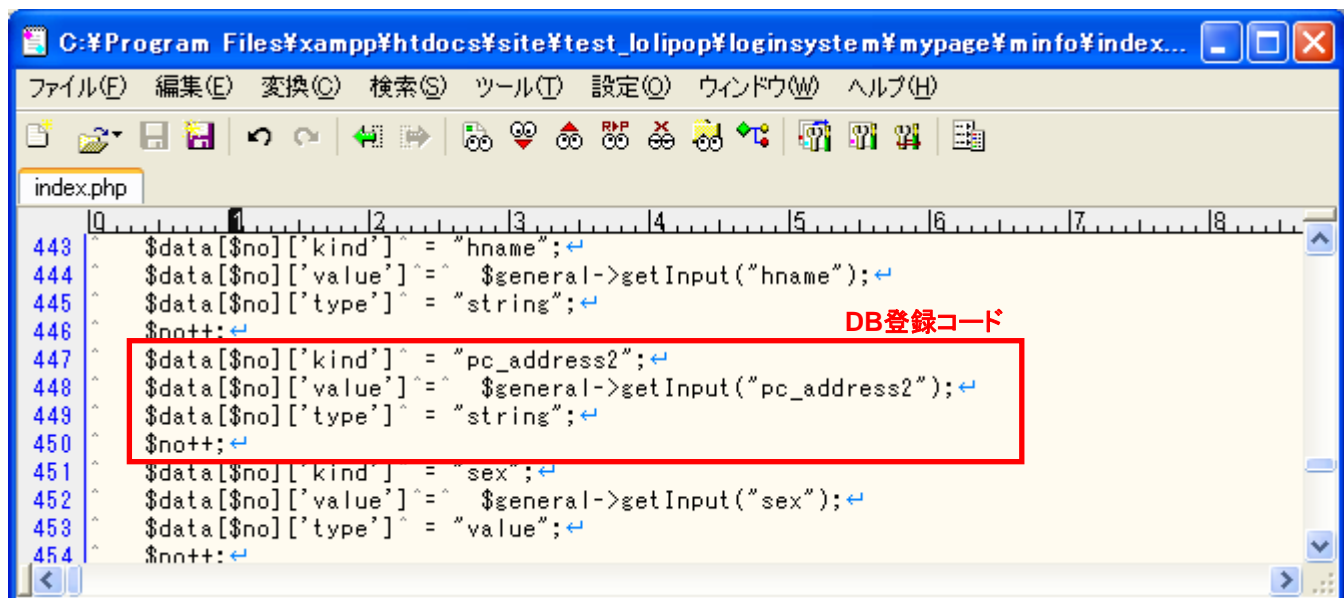
```
55 if($_POST["__ac"] == ""){
56
57     // DB内の登録値を取得
58     $username = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "username");
59     $fname = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "fname");
60     $fkana = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "fkana");
61     $hname = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "hname"); DBから値を取り出し
62     $pc_address2 = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "pc_address2");
63     $sex = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "sex");
64     $type = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "type");
65     $contract = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "contract");
66     $auth_level = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "auth_level");
67     $zip = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "zipcode");
68     $pref = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "pref");
69     $address1 = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "address1");
70     $address2 = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "address2");
71     $telno1 = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "telno1");
72     $faxno = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "faxno");
73     $birth_year = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "birth_year");
74     $birth_month = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "birth_month");
75     $birth_day = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "birth_day");
76     $job = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "job");
77     $hobby = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "hobby");
78     $job_other = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "job_other");
79     $pr = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "pr");
80     $photo_no = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "photo_no");
81     $news_flg = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "news_flg");
82
83     // 値をセット
84     $general->setInput("new_username", $username);
85     $general->setInput("fname", $fname);
86     $general->setInput("fkana", $fkana);
87     $general->setInput("hname", $hname);
88     $general->setInput("pc_address2", $pc_address2); 値を項目へセット
89     $general->setInput("sex", $sex);
90 }
```

以下のように、mypage/minfo/index.php ファイルにエラーチェックコードを記入してください。
エラーチェックをしない場合には、このコードは不要です。



```
C:\Program Files\xampp\htdocs\site\test_lolipop\loginsystem\mypage\minfo\index.php
ファイル(F) 編集(E) 変換(C) 検索(S) ツール(T) 設定(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) UTF-8(CRLF) [0d0a] 212 : 5
index.php
218 }↵
219 // End↵
220
221 // 入力チェック (2つ目のメールアドレス) Start↵
222 $ret = $general->checkInputData("pc_address2", "HM");↵ エラーチェック
223 if($ret != 0) {↵
224     $error_list["pc_address2"] = "<p class='red'>".$error_tpl[$ret]."</p>";↵
225     if($focus_name == "") $focus_name = "pc_address2";↵
226 }↵
227 // End↵
228
229 // 入力チェック (性別) Start↵
```

以下のように、mypage/minfo/index.php ファイルにDB登録コードを記入してください。



```
C:\Program Files\xampp\htdocs\site\test_lolipop\loginsystem\mypage\minfo\index.php
ファイル(F) 編集(E) 変換(C) 検索(S) ツール(T) 設定(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
index.php
443 $data[$no]['kind'] = "hname";↵
444 $data[$no]['value'] = $general->getInput("hname");↵
445 $data[$no]['type'] = "string";↵
446 $no++;↵ DB登録コード
447 $data[$no]['kind'] = "pc_address2";↵
448 $data[$no]['value'] = $general->getInput("pc_address2");↵
449 $data[$no]['type'] = "string";↵
450 $no++;↵
451 $data[$no]['kind'] = "sex";↵
452 $data[$no]['value'] = $general->getInput("sex");↵
453 $data[$no]['type'] = "value";↵
454 $no++;↵
```

最後に、P13の「認証関連のテーブル」の再作成をおこなってください。

7. 物件検索ボックスの内容を変える方法

デフォルトで表示されている、物件検索ボックスの検索項目は

- (1)カテゴリ (2)階数 (3)構造 (4)面積1 (5)面積2 (6)賃料 (7)徒歩
(8)間取り (9)築年月 (10)キーワード (11)検索タグ

の 11個です。検索項目を増やすことは出来ませんが、項目の条件変更や、項目削除は可能です。以下に項目のカスタマイズ方法を記載します。

(1)カテゴリのカスタマイズ方法

カテゴリには、CMS画面から登録したカテゴリが自動表示されます。

ですので、CMS画面からカテゴリ内容や、表示順序を変更すれば、検索ボックスの「カテゴリ」も変更できます。

(2)階数のカスタマイズ方法

検索ボックスのソースには

```
<input type="checkbox" name="floor[]" value="n>=2">2F以上
```

と記載されています。

n>=2 は「2階以上」という意味です。他には以下のようにも記載できます。

- n=2 2階
- n>=2 2階以上
- n<=2 2階以下
- n>2 2階より上
- n<2 2階より下
- n!=2 2階以外

以下のように「:」で組み合わせることもできます。

```
n>=2:n<5 2階以上かつ5階より下
```

(3)構造のカスタマイズ方法

自由に変更可能です。ただし、CMS画面の「物件項目設定」画面で「構造種別」に登録していない内容に変更しても、検索にヒットはされませんので注意してください。

(4)面積1 のカスタマイズ方法

自由に変更可能です。

(5)面積2 のカスタマイズ方法

自由に変更可能です。

(6)賃料 のカスタマイズ方法

検索ボックスのソースには

`<input type="checkbox" name="price[]" value="n<50000">`5万円未満
と記載されています。

`n<50000` は「5万円未満」という意味です。他には以下のようにも記載できます。

`n==50000` 5万円
`n>=50000` 5万円以上
`n<=50000` 5万円以下
`n>50000` 5万円より上
`n<50000` 5万円より下
`n!=50000` 5万円以外

以下のように「:」で組み合わせることもできます。

`n>=50000:n<100000` 5万円以上かつ10万円未満

(7)徒歩 のカスタマイズ方法

自由に変更可能です。

(8)間取り のカスタマイズ方法

検索ボックスのソースには

`<input type="checkbox" name="madori[]" value="n<2">`1DK以下
と記載されています。

`n<2` は「2未満(1DK以下)」という意味です。他には以下のようにも記載できます。

`n>=2:n<3` 2以上かつ3未満(2K以上 2LDK以下)
`n>=3:n<4` 3以上かつ4未満(3K以上 3LDK以下)
`n>=4` 4以上(4K以上)

(9)築年のカスタマイズ方法

自由に変更可能です。

(10)キーワードのカスタマイズ方法

自由に変更可能です。

検索対象は「物件名」「物件名(かな)」「セールスポイント」「備考」です。

(11)検索タグのカスタマイズ方法

自由に変更可能です。

8. 物件へのお問合せに項目を追加する方法

「物件へのお問合せ」のデフォルト項目は『お名前』、『メールアドレス』、『内容』の3項目ですが、さらに任意の項目を追加する方法を記載します。

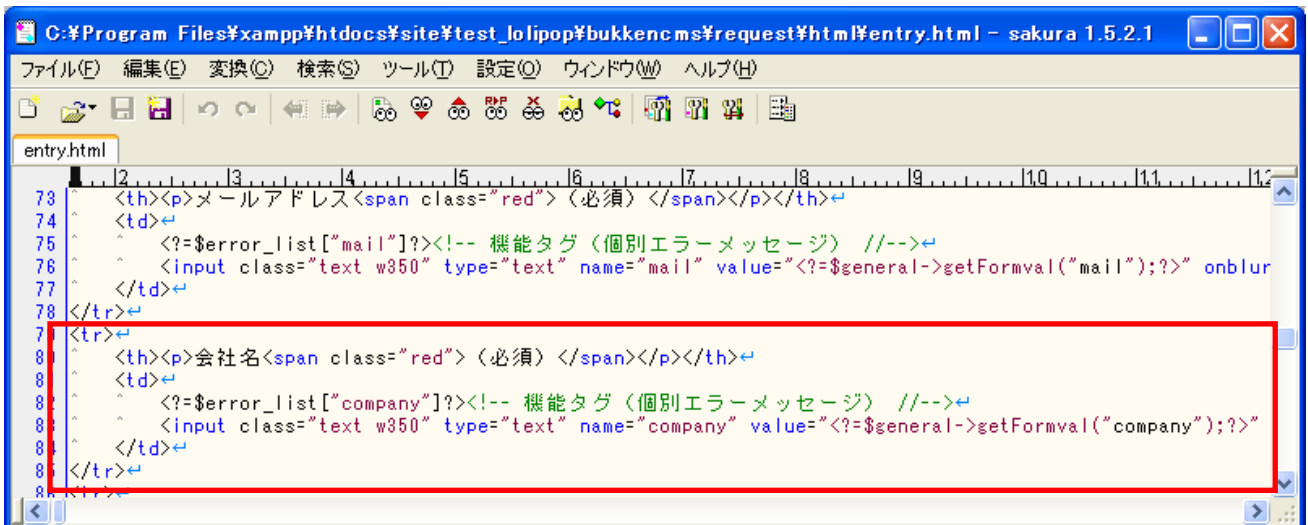
修正するファイルは以下の4ファイルとなります。

1. request/html/entry.html
2. request/html/check.html
3. index.php
4. config.txt

以下例として、「会社名 (company)」を追加する方法を記載します。

(1) request/html/entry.htmlの修正

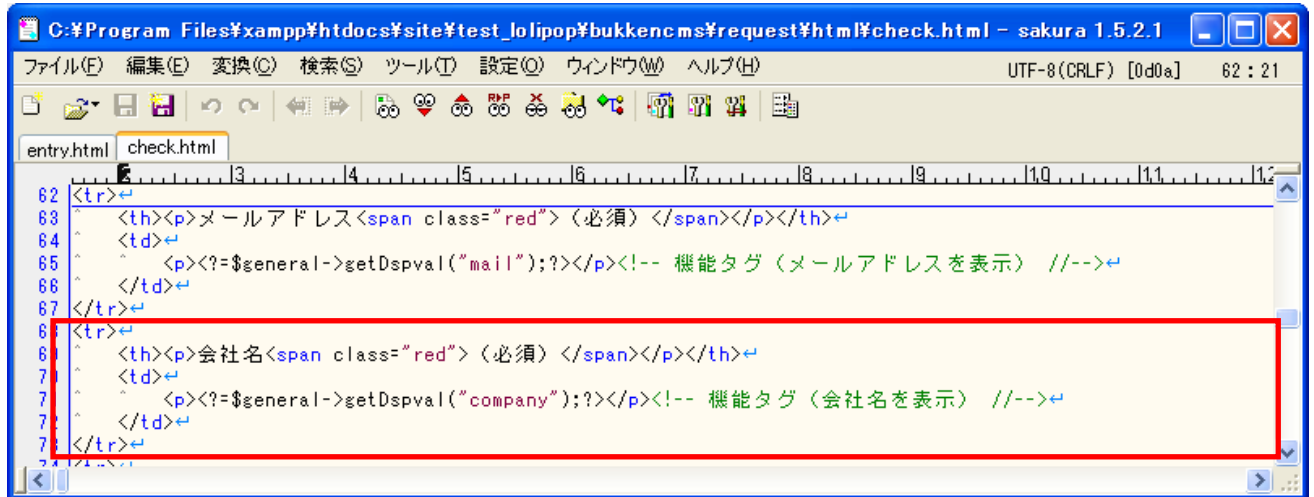
以下のように、request/html/entry.html にコードを追加してください。



```
entry.html
73 <th><p>メールアドレス<span class="red"> (必須) </span></p></th>
74 <td>
75     <?=$error_list["mail"]?><!-- 機能タグ (個別エラーメッセージ) //-->
76     <input class="text w350" type="text" name="mail" value="<?=$general->getFormval("mail");?" onblur
77     </td>
78 </tr>
79 <tr>
80 <th><p>会社名<span class="red"> (必須) </span></p></th>
81 <td>
82     <?=$error_list["company"]?><!-- 機能タグ (個別エラーメッセージ) //-->
83     <input class="text w350" type="text" name="company" value="<?=$general->getFormval("company");?"
84     </td>
85 </tr>
```

(2) request/html/check.htmlの修正

以下のように、request/html/check.html にコードを追加してください。



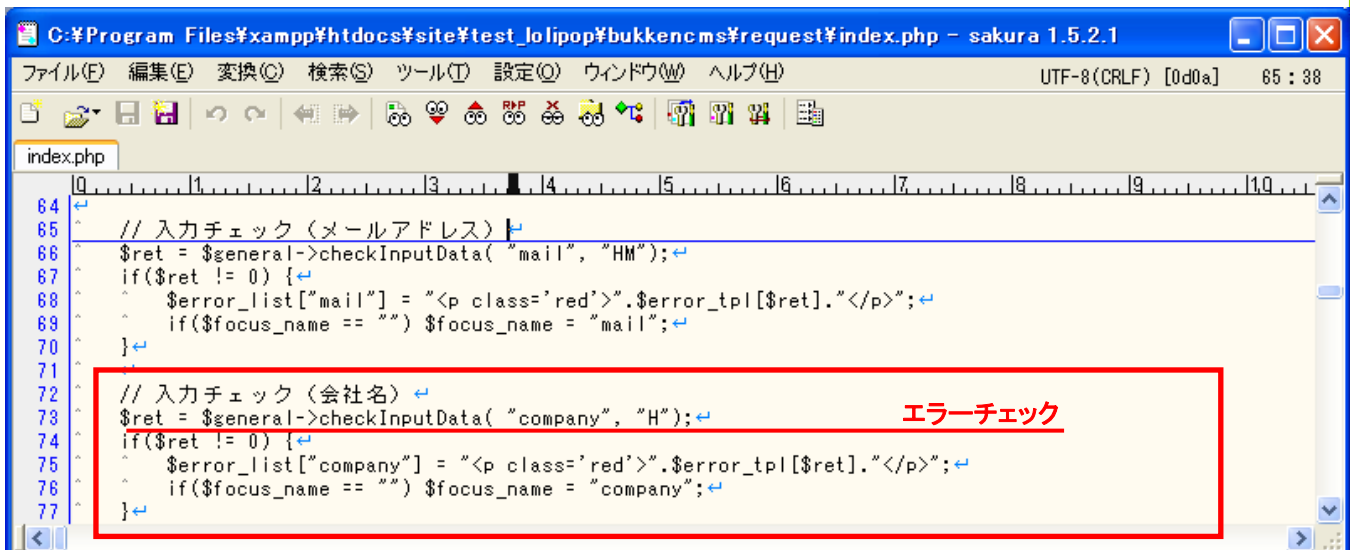
```
62 <tr>
63   <th><p>メールアドレス<span class="red"> (必須) </span></p></th>
64   <td>
65     <p><?=$general->getDspval("mail");?></p><!-- 機能タグ (メールアドレスを表示) //-->
66   </td>
67 </tr>
68 <tr>
69   <th><p>会社名<span class="red"> (必須) </span></p></th>
70   <td>
71     <p><?=$general->getDspval("company");?></p><!-- 機能タグ (会社名を表示) //-->
72   </td>
73 </tr>
```

(3-1) index.phpの修正

以下のように、index.php ファイルにエラーチェックコードを記入してください。

エラーチェックをしない場合には、このコードは不要です。

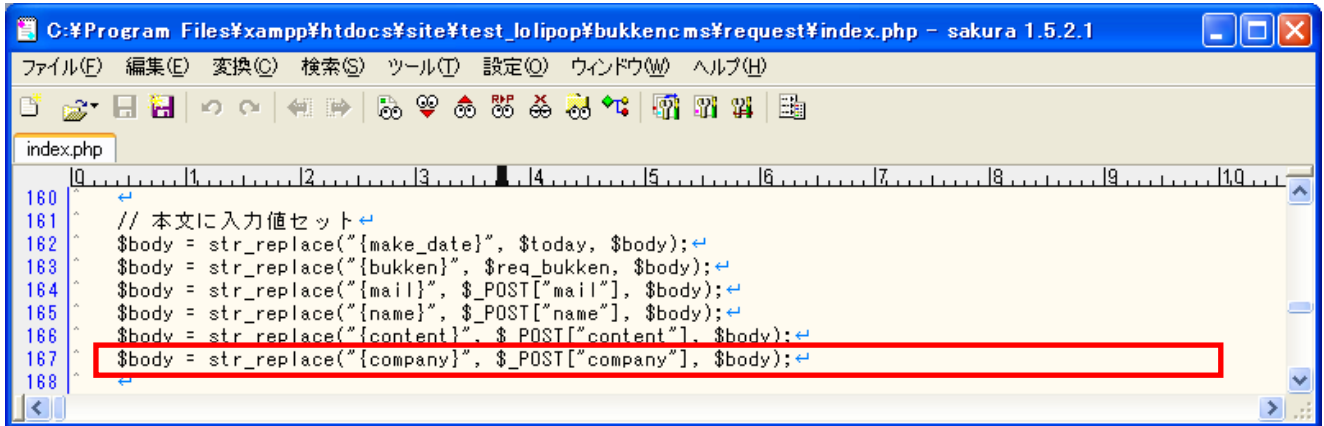
checkInputData の使い方については、23ページに記載があります



```
64 // 入力チェック (メールアドレス)
65 $ret = $general->checkInputData( "mail", "HM");
66 if($ret != 0) {
67   $error_list["mail"] = "<p class='red'>".$error_tpl[$ret]."</p>";
68   if($focus_name == "") $focus_name = "mail";
69 }
70
71 // 入力チェック (会社名)
72 $ret = $general->checkInputData( "company", "H");
73 if($ret != 0) {
74   $error_list["company"] = "<p class='red'>".$error_tpl[$ret]."</p>";
75   if($focus_name == "") $focus_name = "company";
76 }
77
```


(3-2) index.phpの修正

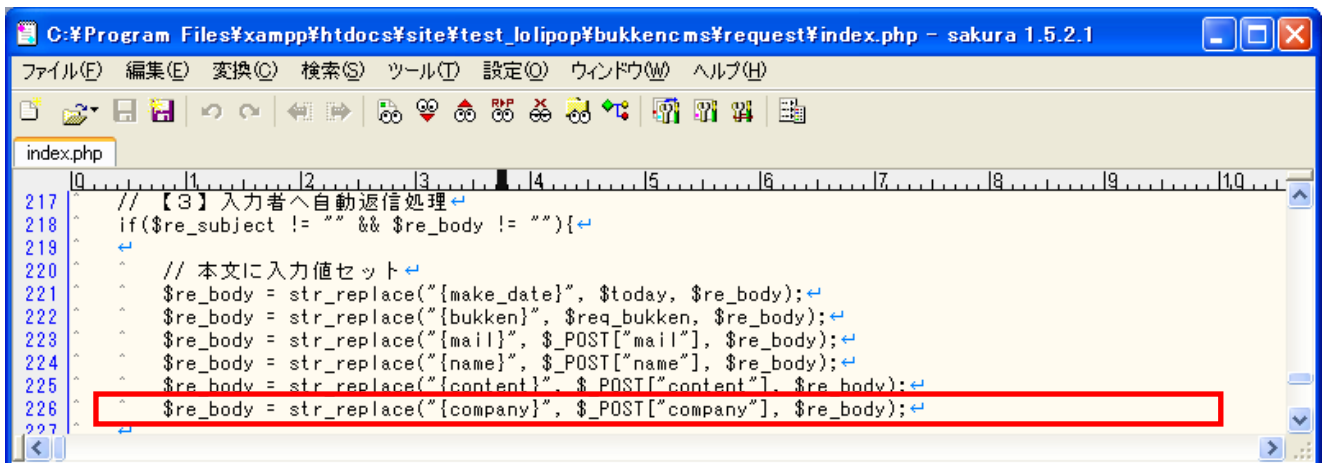
以下のように、index.php にコードを追加してください。



```
C:\Program Files\xampp\htdocs\site\test_lolipop\bukken\msrequest\index.php - sakura 1.5.2.1
ファイル(F) 編集(E) 変換(O) 検索(S) ツール(T) 設定(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
index.php
160 // 本文に入力値セット
161 $body = str_replace("{make_date}", $today, $body);
162 $body = str_replace("{bukken}", $req_bukken, $body);
163 $body = str_replace("{mail}", $_POST["mail"], $body);
164 $body = str_replace("{name}", $_POST["name"], $body);
165 $body = str_replace("{content}", $_POST["content"], $body);
166 $body = str_replace("{company}", $_POST["company"], $body);
167 $body = str_replace("{company}", $_POST["company"], $body);
168
```

(3-3) index.phpの修正

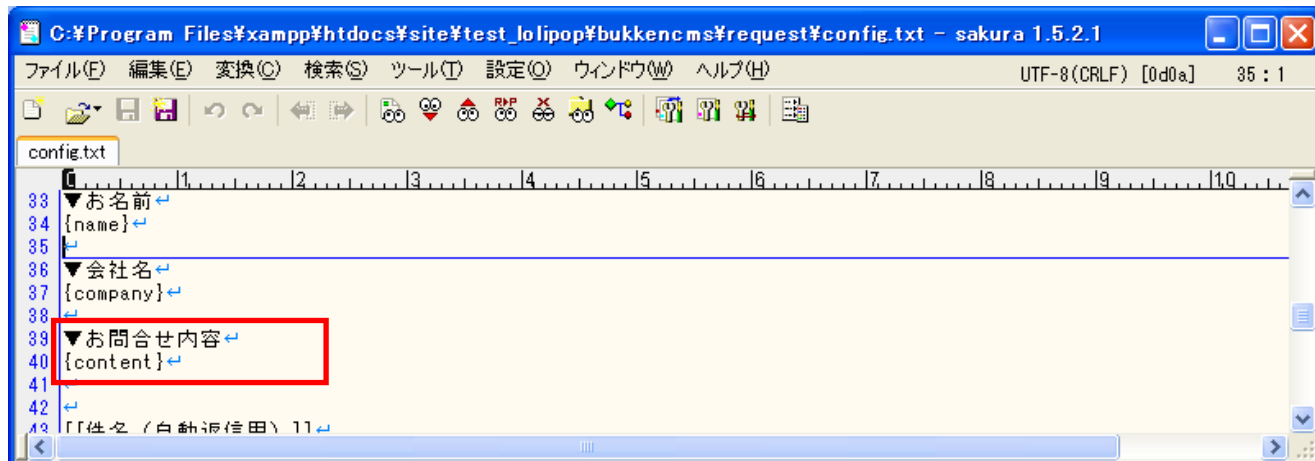
以下のように、index.php にコードを追加してください。



```
C:\Program Files\xampp\htdocs\site\test_lolipop\bukken\msrequest\index.php - sakura 1.5.2.1
ファイル(F) 編集(E) 変換(O) 検索(S) ツール(T) 設定(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
index.php
217 // 【3】 入力者へ自動返信処理
218 if($re_subject != "" && $re_body != ""){
219 // 本文に入力値セット
220 $re_body = str_replace("{make_date}", $today, $re_body);
221 $re_body = str_replace("{bukken}", $req_bukken, $re_body);
222 $re_body = str_replace("{mail}", $_POST["mail"], $re_body);
223 $re_body = str_replace("{name}", $_POST["name"], $re_body);
224 $re_body = str_replace("{content}", $_POST["content"], $re_body);
225 $re_body = str_replace("{company}", $_POST["company"], $re_body);
226 $re_body = str_replace("{company}", $_POST["company"], $re_body);
227
```

(4) config.txtの修正

以下のように、config.txt のメール本文テンプレートにコードを追加してください。
メール送信時、{company} の部分が入力値に変換されて送信されます。



```
C:\Program Files\xampp\htdocs\site\test_lolipop\bukkencms\request\config.txt - sakura 1.5.2.1
ファイル(F) 編集(E) 変換(O) 検索(S) ツール(T) 設定(Q) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) UTF-8 (CRLF) [0d0a] 35 : 1
config.txt
33 ▼お名前 ←
34 {name} ←
35 ←
36 ▼会社名 ←
37 {company} ←
38 ←
39 ▼お問合せ内容 ←
40 {content} ←
41 ←
42 ←
43 「[姓-名 (自動返信用)]」 ←
```

また、物件の登録情報を表示したい場合には、4ページ目の機能タグも利用できます。

9. 物件への一括お問合せに、物件情報を追加する方法

「物件への一括お問合せ」のデフォルト物件情報は『物件名』、『ID』の2項目ですが、さらに任意の物件情報を追加する方法を記載します。

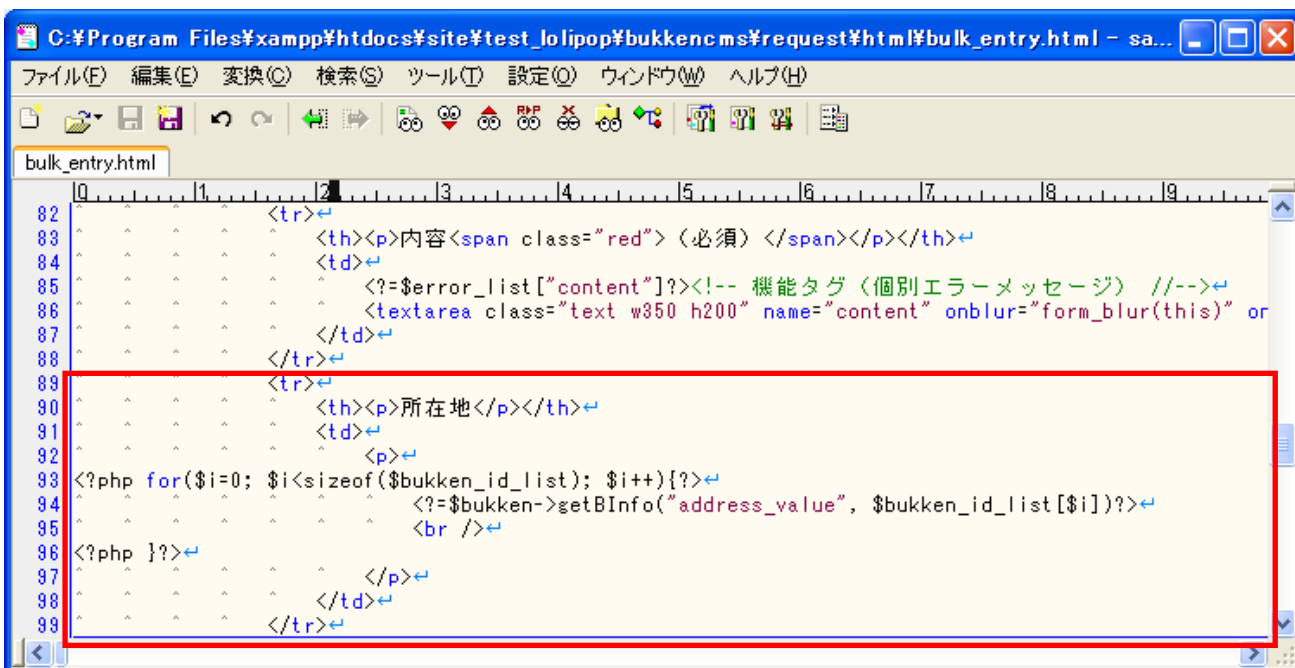
修正するファイルは以下の4ファイルとなります。

1. request/html/bulk_entry.html
2. request/html/bulk_check.html
3. bulk.php
4. config.txt

以下例として、「所在地 (address)」を追加する方法を記載します。

(1) request/html/bulk_entry.htmlの修正

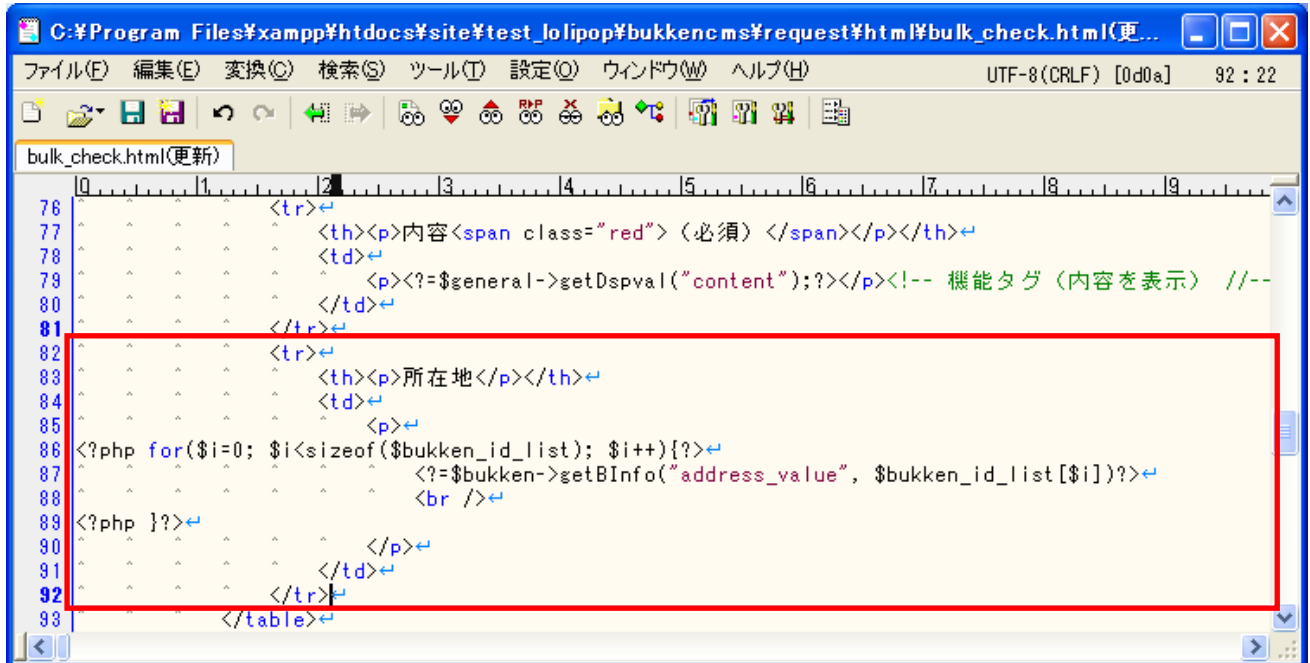
以下のように、request/html/bulk_entry.html にコードを追加してください。



```
82 </tr>
83 <th><p>内容<span class="red"> (必須) </span></p></th>
84 <td>
85 <?=$error_list["content"]?><!-- 機能タグ (個別エラーメッセージ) //-->
86 <textarea class="text w350 h200" name="content" onblur="form_blur(this)" or
87 </td>
88 </tr>
89 <tr>
90 <th><p>所在地</p></th>
91 <td>
92 <p>
93 <?php for($i=0; $i<sizeof($bukken_id_list); $i++){?>
94 <?=$bukken->getBInfo("address_value", $bukken_id_list[$i])?>
95 <br />
96 <?php }?>
97 </p>
98 </td>
99 </tr>
```

(2) request/html/bulk_check.htmlの修正

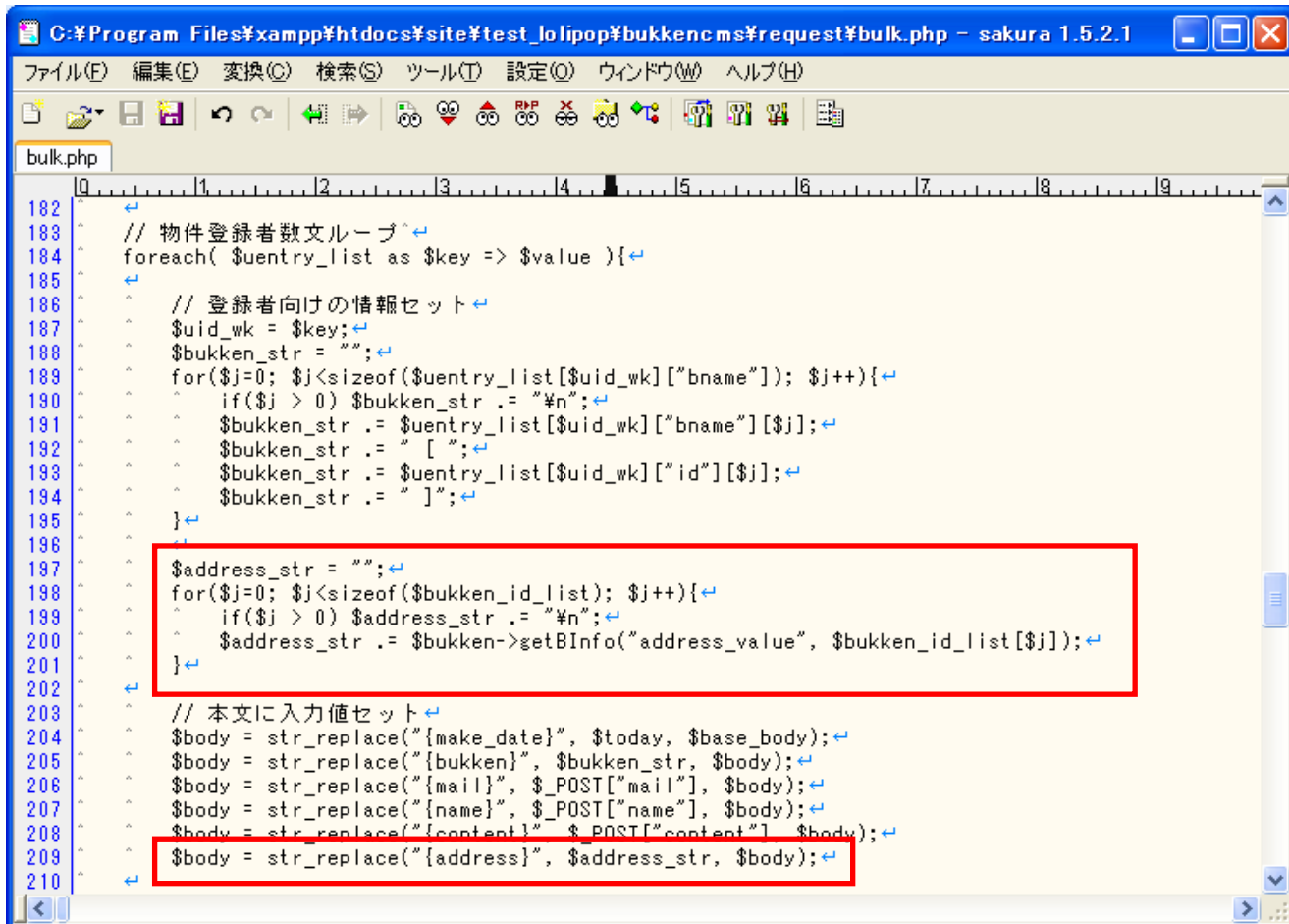
以下のように、request/html/bulk_check.html にコードを追加してください。



```
C:\Program Files\xampp\htdocs\site\test_lolipop\bukken\cms\request\html\bulk_check.html(更新)
ファイル(E) 編集(E) 変換(C) 検索(S) ツール(T) 設定(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) UTF-8 (CRLF) [0d0a] 92 : 22
bulk_check.html(更新)
76      <tr>
77      <th><p>内容<span class="red"> (必須) </span></p></th>
78      <td>
79      <p><?=$general->getDspval("content");?></p><!-- 機能タグ (内容を表示) //--
80      </td>
81     </tr>
82     <tr>
83     <th><p>所在地</p></th>
84     <td>
85     <p>
86     <?php for($i=0; $i<sizeof($bukken_id_list); $i++){?>
87     <?=$bukken->getBInfo("address_value", $bukken_id_list[$i])?>
88     <br />
89     <?php }?>
90     </p>
91     </td>
92     </tr>
93     </table>
```

(3-1) bulk.phpの修正

以下のように、bulk.php の「物件登録者向け情報セット」処理部に追加してください。



```
182 ^
183 ^ // 物件登録者数文ループ^
184 ^ foreach( $uentry_list as $key => $value ){^
185 ^ ^
186 ^ ^ // 登録者向けの情報セット^
187 ^ ^ $uid_wk = $key;^
188 ^ ^ $bukken_str = "";^
189 ^ ^ for($j=0; $j<sizeof($uentry_list[$uid_wk]["bname"]); $j++){^
190 ^ ^ ^ if($j > 0) $bukken_str .= "\n";^
191 ^ ^ ^ $bukken_str .= $uentry_list[$uid_wk]["bname"][$j];^
192 ^ ^ ^ $bukken_str .= " [";^
193 ^ ^ ^ $bukken_str .= $uentry_list[$uid_wk]["id"][$j];^
194 ^ ^ ^ $bukken_str .= " ]";^
195 ^ ^ }^
196 ^ ^ ^
197 ^ ^ $address_str = "";^
198 ^ ^ for($j=0; $j<sizeof($bukken_id_list); $j++){^
199 ^ ^ ^ if($j > 0) $address_str .= "\n";^
200 ^ ^ ^ $address_str .= $bukken->getBInfo("address_value", $bukken_id_list[$j]);^
201 ^ ^ }^
202 ^ ^ ^
203 ^ ^ // 本文に入力値セット^
204 ^ ^ $body = str_replace("{make_date}", $today, $base_body);^
205 ^ ^ $body = str_replace("{bukken}", $bukken_str, $body);^
206 ^ ^ $body = str_replace("{mail}", $_POST["mail"], $body);^
207 ^ ^ $body = str_replace("{name}", $_POST["name"], $body);^
208 ^ ^ $body = str_replace("{content}", $_POST["content"], $body);^
209 ^ ^ $body = str_replace("{address}", $address_str, $body);^
210 ^ ^ ^
```

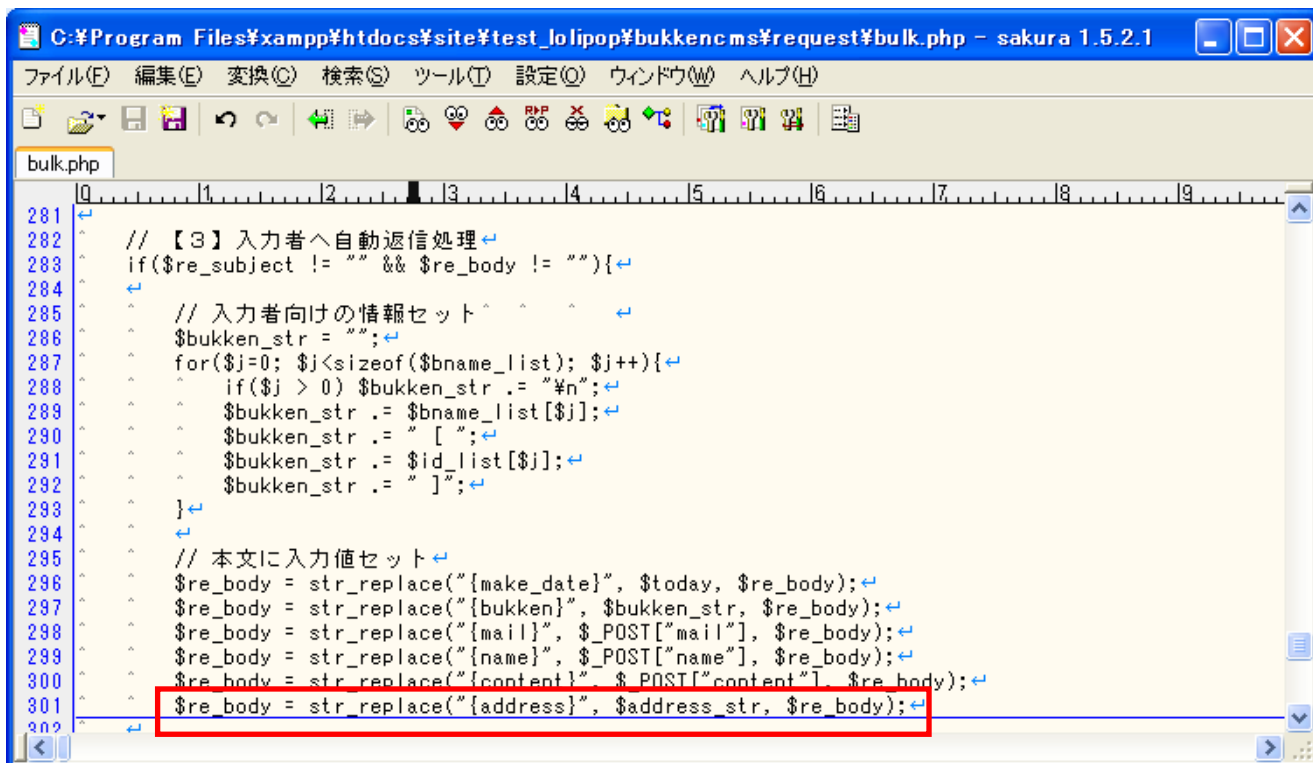
(3-2) bulk.phpの修正

以下のように、bulk.php の「管理者向け情報セット」処理部に追加してください。

```
233 ^
234 ^ // 管理者向けの情報セット^
235 ^ $bukken_str = "";
236 ^ for($j=0; $j<sizeof($bname_list); $j++){
237 ^     if($j > 0) $bukken_str .= "%n";
238 ^     $bukken_str .= $bname_list[$j];
239 ^     $bukken_str .= " [ ";
240 ^     $bukken_str .= $id_list[$j];
241 ^     $bukken_str .= " ]";
242 ^ }
243 ^
244 ^
245 ^ $address_str = "";
246 ^ for($j=0; $j<sizeof($bukken_id_list); $j++){
247 ^     if($j > 0) $address_str .= "%n";
248 ^     $address_str .= $bukken->getBInfo("address_value", $bukken_id_list[$j]);
249 ^ }
250 ^
251 ^ // 本文に入力値を再セット
252 ^ $body = str_replace("{make_date}", $today, $base_body);
253 ^ $body = str_replace("{bukken}", $bukken_str, $body);
254 ^ $body = str_replace("{mail}", $_POST["mail"], $body);
255 ^ $body = str_replace("{name}", $_POST["name"], $body);
256 ^ $body = str_replace("{content}", $_POST["content"], $body);
257 ^ $body = str_replace("{address}", $address_str, $body);
258 ^
259 ^
```

(3-3) bulk.phpの修正

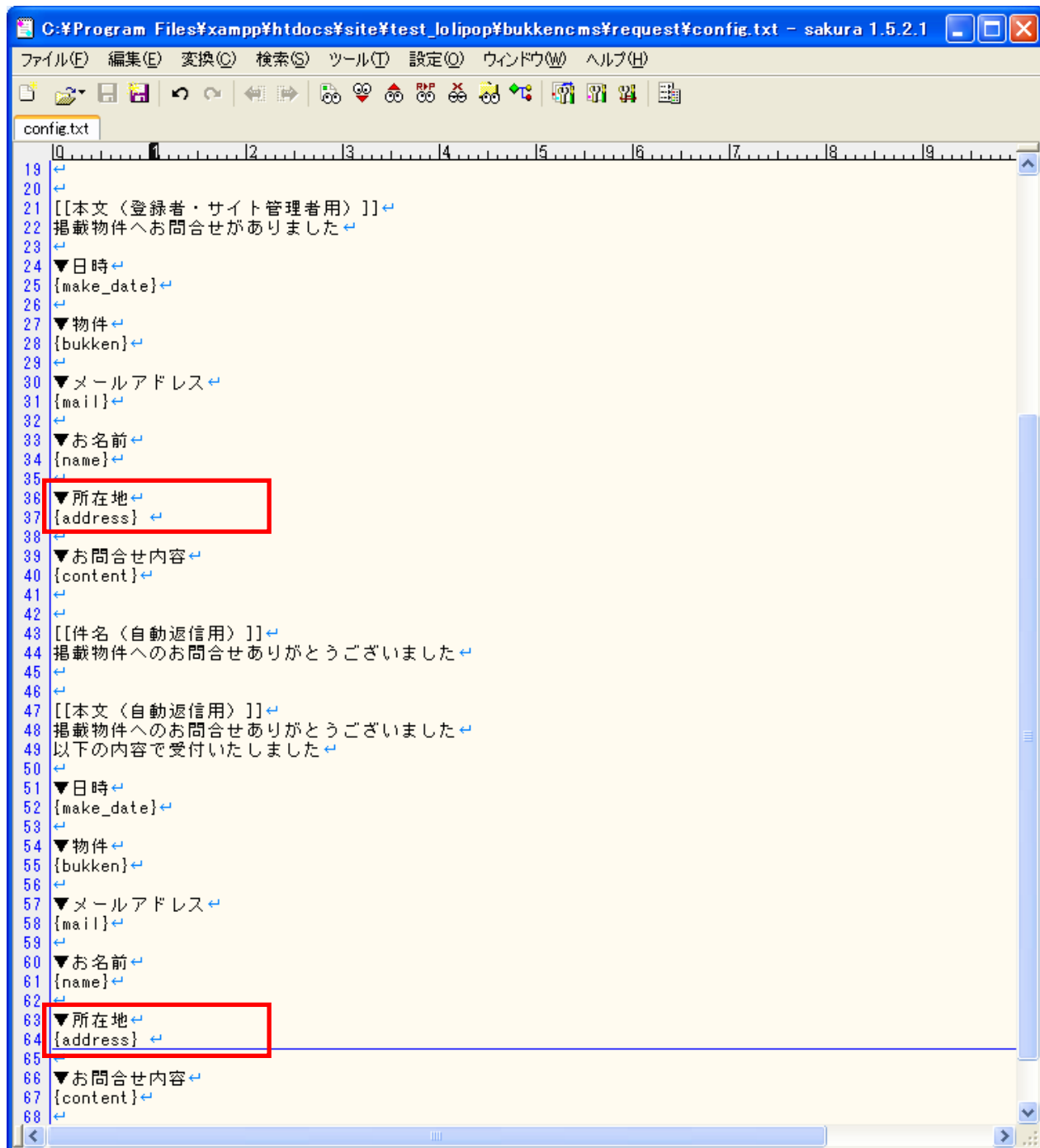
以下のように、bulk.php の「入力者(お問合せ者)向け情報セット」処理部に追加してください。



```
281 ^
282 ^ // 【3】入力者へ自動返信処理
283 ^ if($re_subject != "" && $re_body != ""){
284 ^ ^
285 ^ // 入力者向けの情報セット
286 ^ ^ $bukken_str = "";
287 ^ ^ for($j=0; $j<sizeof($bname_list); $j++){
288 ^ ^ ^ if($j > 0) $bukken_str .= "\n";
289 ^ ^ ^ $bukken_str .= $bname_list[$j];
290 ^ ^ ^ $bukken_str .= " [ ";
291 ^ ^ ^ $bukken_str .= $id_list[$j];
292 ^ ^ ^ $bukken_str .= " ]";
293 ^ ^ }
294 ^ ^
295 ^ // 本文に入力値セット
296 ^ ^ $re_body = str_replace("{make_date}", $today, $re_body);
297 ^ ^ $re_body = str_replace("{bukken}", $bukken_str, $re_body);
298 ^ ^ $re_body = str_replace("{mail}", $_POST["mail"], $re_body);
299 ^ ^ $re_body = str_replace("{name}", $_POST["name"], $re_body);
300 ^ ^ $re_body = str_replace("{content}", $_POST["content"], $re_body);
301 ^ ^ $re_body = str_replace("{address}", $address_str, $re_body);
302 ^ ^ }
```

(4) config.txtの修正

以下のように、config.txt のメール本文テンプレートにコードを追加してください。
メール送信時、{address} の部分が入力値に変換されて送信されます。



```
C:\Program Files\xampp\htdocs\site\test_lolipop\bukkencms\request\config.txt - sakura 1.5.2.1
ファイル(F) 編集(E) 変換(O) 検索(S) ツール(T) 設定(Q) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
config.txt
19
20
21 [[本文 (登録者・サイト管理者用)]]
22 掲載物件へお問合せがありました
23
24 ▼日時
25 {make_date}
26
27 ▼物件
28 {bukken}
29
30 ▼メールアドレス
31 {mail}
32
33 ▼お名前
34 {name}
35
36 ▼所在地
37 {address}
38
39 ▼お問合せ内容
40 {content}
41
42
43 [[件名 (自動返信用)]]
44 掲載物件へのお問合せありがとうございました
45
46
47 [[本文 (自動返信用)]]
48 掲載物件へのお問合せありがとうございました
49 以下の内容で受けいたしました
50
51 ▼日時
52 {make_date}
53
54 ▼物件
55 {bukken}
56
57 ▼メールアドレス
58 {mail}
59
60 ▼お名前
61 {name}
62
63 ▼所在地
64 {address}
65
66 ▼お問合せ内容
67 {content}
68
```